

効果的なFP相談を目指して

- 住宅ローンと子供の私学教育の両立を考える（前回実施済み）
- リタイアメント・プランと相続入門（今回の内容）

FPキャプテンを駆使してFP相談の質を高めましょう

ウェブ・ステージ

1級ファイナンシャル・プランニング技能士



岩崎 康之



日本FP協会会員

URL: <http://webstage21.com/cf/>

E-mail: webstage@ny.airnet.ne.jp

TEL : 045-624-9603

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

日本FP協会の「実務支援ソフトウェアの体験コーナー」に登録

2017年3月31日まで: 2017年4月1日から『ライブラリー』は閉鎖されます



Myページログイン

Myページは日本FP協会会員が、
登録を行うことによりご利用できます。



ログイン

会員サポート

ライブラリー

[ライブラリー 蔵書のご案内](#)

[ライブラリー 新着図書のご案内](#)

[実務支援ソフトウェアの体験コーナー](#)

選択

「実務支援ソフトウェアの体験コーナー」について

日本FP協会では、会員の皆様の実務支援の一環として、本部事務所のライブラリーコーナーに「実務支援ソフトウェアの体験コーナー」を設置しています。
お近くへお越しの際は、是非お立ち寄りのうえ、お気軽にご利用ください。

<利用できるソフトウェア>

商品名	提供元
FPスタッフ（お試し版）	株式会社 きんざい
FP Sクラブ（フル機能版）	株式会社 セールス手帖社保険 F P S 研究所
FPキャプテン（体験版）	神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合 （詳細は http://www.fp-kanagawa.com/book/info.php?no=635 ）

[体験版](#)

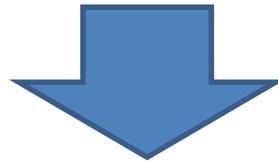
目次

FPキャプテン 2017年版で説明

序文

第一章 FPキャプテンの基本動作編 (済)

== 借家・自宅購入・私立学校 ==



第二章 FPキャプテンの基礎編 (2)

==リタイアメント・プランと相続入門==

例題1: 『現状の収支』把握します

例題2: 『キャッシュフロー』に昨年の相続額を追加します

例題3: 『使途不明金』を減らします

例題4: 『相続税概算』を確認します

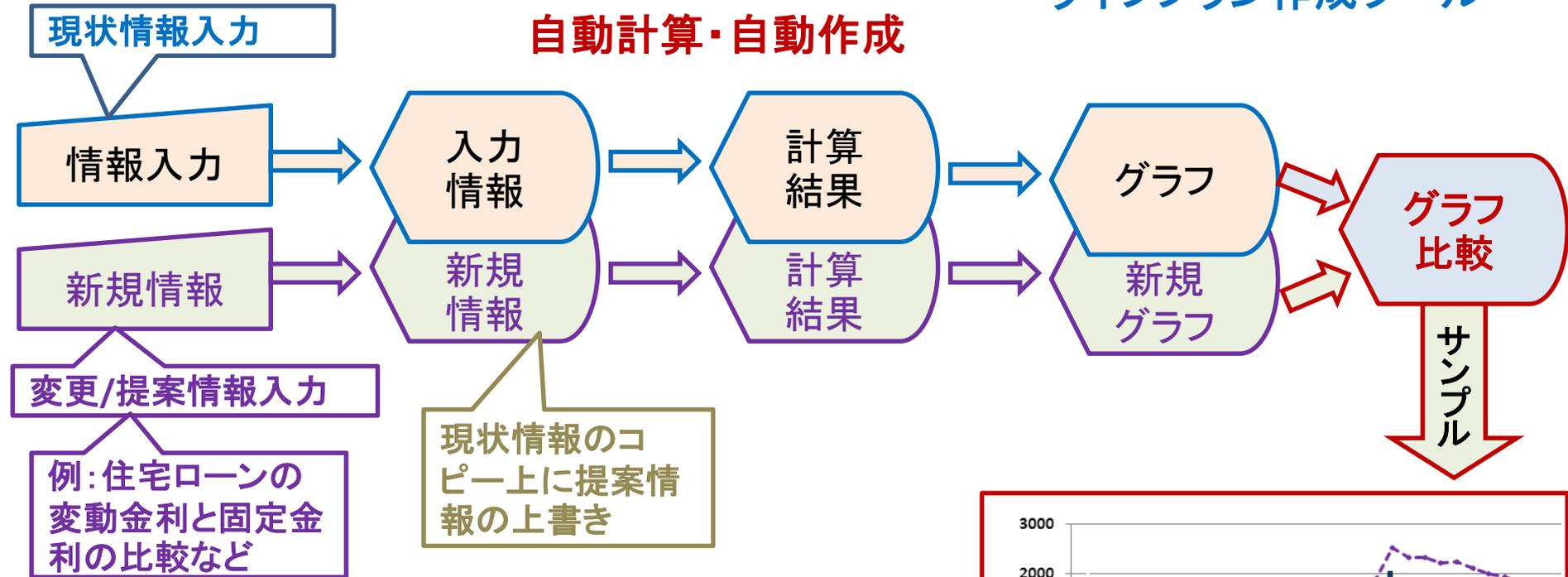
例題5: 『相続財産』の活用を考える

その他

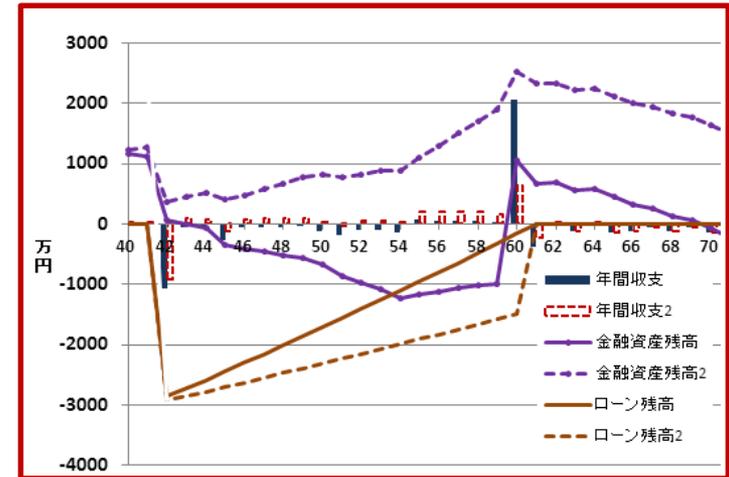
『FPキャプテン』⇒比較グラフ作成

ライフプラン作成ツール

自動計算・自動作成



簡単入力で比較グラフを追加表示します



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

収入と支出の把握

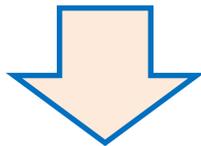
年間収入はいくらですか？ ⇒ 一年間の可処分所得を把握しましょう

- 「給与所得者」と「年金受給者」の「可処分所得」は、「支払金額」から「所得税・住民税」と「社会保険料」を引いた額です。
- 「事業(不動産)所得者」の「可処分所得」は、「事業(不動産)収入」から「所得税・住民税」と「社会保険料」と「必要経費」を引いた額です。

年間基本支出はいくらですか？ ⇒ 一年間の項目毎の支出を把握しましょう

- 「支出項目」に分けた「支出集計表」を作成し、過去一年の「基本支出」を把握しましょう。(基本生活費・教育関連費・住居関連費・保険関連費・自動車関連費・その他)
- 「可処分所得」から過去一年間の「貯蓄額」と、既に把握できている「支出合計」を引いた残額を「使途不明金」として「基本生活費」に追加します。

FPキャプテン



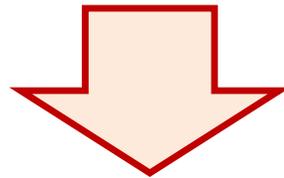
上記情報が無くてもお客様のキャッシュフロー概要を予測できます

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

大事なお客様を逃がさない工夫

お客様との会話中にしたい事

1. お客様の現状をグラフにまとめて表示
自動入力機能・統計値による計算・年金自動計算
2. FPの提案をグラフで比較
3. 次回の面談の為にサマリーを渡す（印刷）



『FPキャプテン』を使用すれば可能です

第二章 FPキャプテンの基礎編

==リタイアメント・プランと相続入門==

例題1：『現状の収支』の把握

収入・年金など

白紙

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談例 ==

お客様のご希望

田中さんご夫婦が教育費に関して相談に来ました。

- 中堅企業に勤務されていて、**54歳**で年収は**800万円**です。
- 昨年**配偶者**の親からの**相続**として1000万円入手し、金融資産残高は1800万円です。
- 同じく昨年本人の親からマンションを**相続**した。（昨年遺産相続完了）
- シニアライフプランに関して相談来ました。
老後資金と余暇の過ごし方など
- 二人の子供は今年から社会人で自分たちで生活をする予定です
- 住宅ローンは退職までに完済できます

プラン作成に当たっての希望

- 65歳以降の収支がどうなるか？65歳で仕事を辞める時、住宅ローンを完済後、2000万円の貯蓄が欲しい。又、死ぬ時に妻に1000万円残してやりたい。
- シニアライフの過ごし方に関して教えて下さい。
- 親から相続した財産などの処理に関し教えて下さい。
- 子供たちの相続税を減らす方法はありますか。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

== お客様のファイナンシャル状況 ==

家族構成	田中様 本人(和夫):54歳 一子(理沙):24歳	(昨年末 年齢) 配偶者(愛子):54歳 二子(健人):22歳
職種:	本人 中堅企業 配偶者: 主婦	(電気・ガス関連会社) 年収800万円 (パート収入) 年収100万円
金融資産:	1800万円 (昨年末)	(昨年親からの相続として1000万円含む)
基本生活費:	300万円 (年間)	保険料:12万円(年間)

住宅

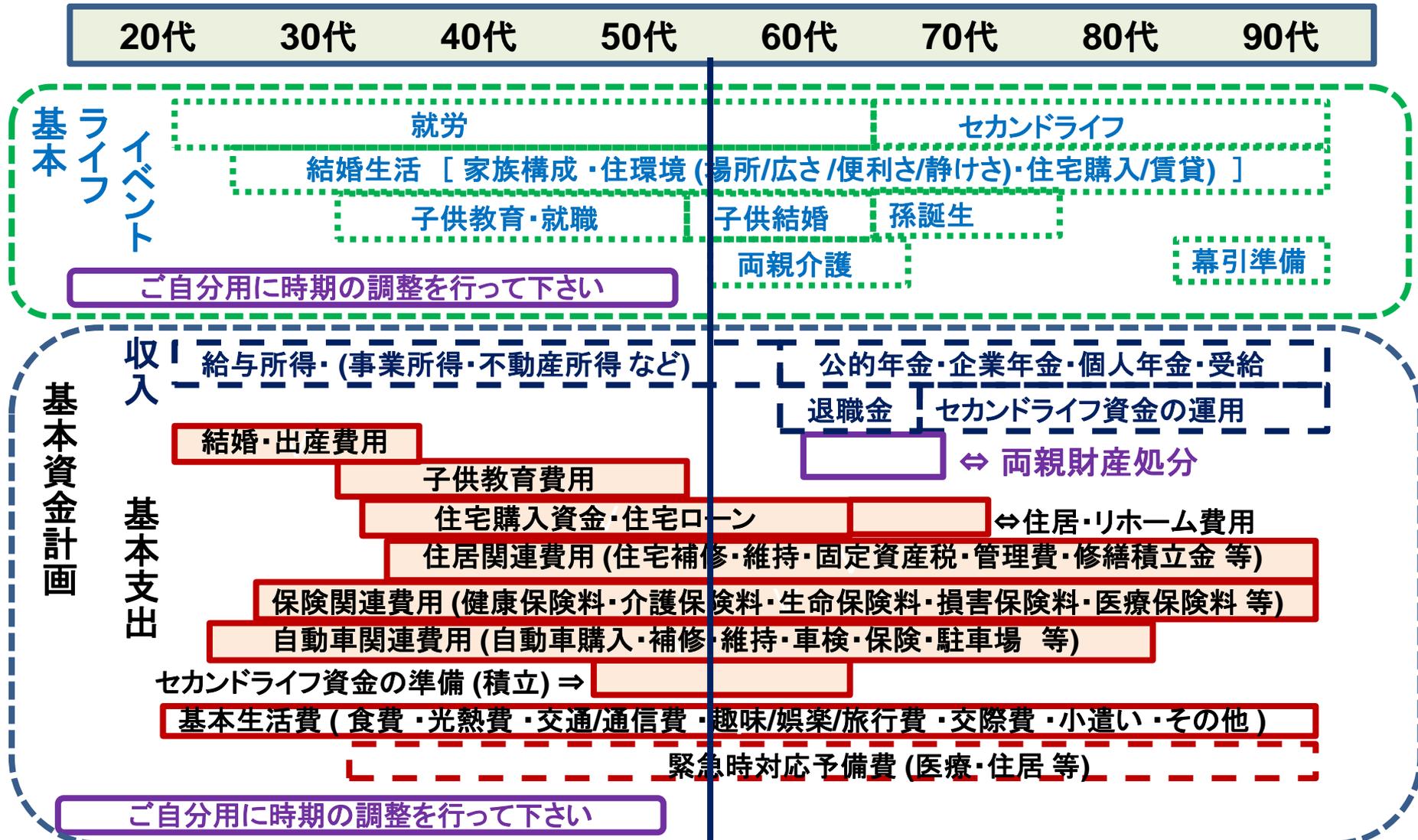
34歳で自宅を購入

価格:3800万円

ローン:3400万円 年利:1.2% 変動金利 期間:30年

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『基本ライフステージ』の展開 ⇒ 例



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『在職中』と『セカンドライフ』の時間比較 ⇒ 例

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
在職 (注1) 就労時間 (拘束時間) = 約10万時間					セカンドライフ (自由時間) = 約10万時間 (注2)		

➤ 注1 (就労時間) : 10時間 x 5日 x 52週 x 約40年 = 約104,000時間

➤ 注2 (セカンドライフ) : 14時間 x 7日 x 52週 x 約20年 = 約101,920時間



- **健康維持と夫婦円満**が重要です。
- 在職中の色々な**経験**が、セカンドライフの**目標・夢**に活かれます。
- ライフプランの**(追加) ライフイベント 計画表 ***(セカンドライフの**目標・夢**を含む)は、資金的にゆとりのある**在職中**にたてることをお勧めします。(*後述)
- セカンドライフの**資金**は、在職中の**本業**の収入で賄うことが基本です。
- セカンドライフでは、夫婦でいる時間が長くなりますので、夫婦それぞれの居場所を確保し、適度な距離において、お互いの独立性を尊重し、新鮮な感覚で接するようにはいかがですか。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

例：『基本ライフデザイン』：基本ライフイベント計画表

基本ライフステージの展開にある『基本ライフイベント』を基にあなたの『基本ライフイベントの計画表』を作成して下さい。今後15年の計画を記入します。（年末年齢で記入）

基本ライフイベント					『基本ライフステージ』の展望	
西暦	本人	配偶者	一子	二子	基本ライフイベント①	基本ライフイベント②
20xa	54歳	54歳	24歳	22歳		
20xb	55歳	55歳	25歳	23歳		
20xc	56歳	56歳	26歳	24歳		
20xd	57歳	57歳	27歳	25歳		
20xe	58歳	58歳	28歳	26歳		
20xf	59歳	59歳	29歳	27歳		
20xg	60歳	60歳	30歳	28歳	夫退職(退職金)再就職	一子へ結婚資金
20xh	61歳	61歳	31歳	29歳		
20xi	62歳	62歳	32歳	30歳		二子へ結婚資金
20xj	63歳	63歳	33歳	31歳	自宅リホーム	
20xk	64歳	64歳	34歳	32歳		
20xl	65歳	65歳	35歳	33歳	夫再就職退職	
20xm	66歳	66歳	36歳	34歳		
20xn	67歳	67歳	37歳	35歳		
20xo	68歳	68歳	38歳	36歳		

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『現状の収支』 ⇒ 収入・教育・年金など

昨年54歳: 平均的な方

ライフプラン・サンプル

基準年	昨年
-----	----

家族情報	名前	年齢 (昨年)	給与情報 * 大企業情報通信業部長				再雇用 60~64歳	リタイアメント			
			生年月日	就職年齢	退職年齢	昨年税込年収		52歳まで	退職金	退職金受領	公的年金
世帯主 *	A	54歳	省略	23歳	64歳	800万円	昇給 2.904%	給料66%	2,523万円	60歳	65歳
配偶者	B	54歳	省略	45歳	59歳	100万円		無職			65歳
第一子	C	24歳	省略								
第二子	D	22歳	省略								

進学方針・資金援助関連

	名前	教育費 (上昇率: -1%)						結婚資金援助	
		幼稚園	小学校	中学校	高校	大学	通学方法	年齢	援助額
第一子	C	私立	公立	公立	公立	私立文系	自宅	30歳時	100万円
第二子	D	私立	公立	公立	公立	私立文系	自宅	30歳時	100万円

金融資産残高

残高	1800万円	運用率	0%
----	--------	-----	----

支出

基本生活費	300万円 /年	60歳後	80.00%	全ての期間の上昇率	0.00%	家族人数反映=1(yes)
-------	----------	------	--------	-----------	-------	---------------

住宅購入

	自宅
取得年	34歳時
物件購入費	3800万円
借入金額	3400万円
借入金利 固定	1.20%
返済年数	30年
退職時の状況	完了

保険	12万円 /年
リホーム	10年後:100万円 20年後:200万円 30年後:100万円 40年後:400万円

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『FPキャプテン』を開きます

FPキャプテン 2017年版で説明

この画面から開始する時は最初の一回だけです

セキュリティーの警告が出た場合は『コンテンツの有効化』を押して下さい

使用可能 Version 15.54 拡張
kfpkfp

FPの期待に応える！
～ライフプラン作成ソフト～

押す

FPキャプテン

使用開始には使用許諾契約と利用規約の両方にご同意後、上記【FPキャプテン】の文字を押して下さい ↑
FPキャプテン 使用許諾契約と利用規約は、インターネット接続後、この文章を押して下さい。

注意: 当EXGCELソフトのファイル名の2個の“@”の間は変更しないで下さい。
ファイル名に新たに『_』『@』『/』『\』『.』小文字などを追加使用しないで下さい。

販売: 神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第1安田ビル 7F

URL: <http://www.fp-kanagawa.com>

E-mail: info@fp-kanagawa.com

開発: ウェブ・ステージ (Webstage)

URL: <http://webstage21.com/cf/>

E-mail: webstage@ny.airnrt.ne.jp

途中の質問には『OK』または『保存』を押します

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『メニュー』 ⇒ 『質問票』の矢印を押す

注: 『メニュー(項目選択)』をスキップまたは『メニュー』がQ&Aの版があります

FPキャプテン
ライフプラン作成ソフト

注: 当EXCELソフトはパソコンにダウンロードしてからご使用下さい。(“C”ホルダー)
USBメモリー, CD, メール受信ボックス上での動作は保障いたしません。

使用可能 333123 Version 15.52
99999 333123 yiwasaki kfpkfp

注意: 当EXCELソフトのファイル名の2個の“@”の間は変更しないで下さい。
ファイル名に新たに『_』『-』『@』『.』『/』『\』『.』小文字などを追加使用しないで下さい。
当EXCELソフトは登録されているパソコンのユーザー名の“ハードディスクドライブのC”のホルダーでご使用下さい。

『簡単』へジャンプ ⇒ 

左の緑矢印を押して家族構成・職種などの入力(簡単シート)にお進みください

注: マクロを使用しない方は下の『タブ(シート名)』をご使用下さい

[初期設定値 \(インターネット接続後ご使用下さい\)](#)

【メニュー】

内容	下記の矢印をクリック	シート名
家族構成、職種などの入力 [必須]		簡単
収入と金融資産などの入力 [必須]		収入
支出関連 (生活費・住宅ローンなど)の入力 [必須]		支出
年金・保険・支出などの詳細情報入力 [任意]		入力
年間収支・金融資産残高・ローン残高などの表示		図
ローン関連の表示		ローン
相続・贈与情報の入力		資産
質問票を使用時の入力		

使用上の制限条項、初期設定項目、自動計算項目はスクロールダウンすることにより閲覧できます。
FPキャプテンのご記入に役立つ【相談データ記入シート】は右側の「ここ」の文字をクリックしてください。

[「ここ」](#)

ご連絡

[お問い合わせフォーム](#)

(WEB環境でご使用下さい)

質問票を押す

【FPキャプテン・使用許諾契約】

【FPキャプテン・利用規約】

【FPキャプテン・改訂情報】

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『質問票』に記入します

お金の使い方を調べてみましょう (薄ピンク色の所にご記入をお願いします)

(質問票は給与所得者 20歳～59歳で年収が150万円以上が対象)

家族	何歳ですか (昨年末の満年齢)	54歳	①質問票に年齢を記入します		
	配偶者は何歳ですか (昨年末の満年齢)	54歳			
	お子様の年齢を大きい順に入れて下さい	24歳	22歳		

①今回は性別を選択していない時を示します

①質問票の職業欄に記入します

仕事	お仕事についてお伺いいたします。次の中から選択してください				
	性別	企業規模の選択	職業の選択	税込年収(万円)の記入(*注)	
	ご本人	選択	中企業(100人～999人)	電気・ガス・熱供給・水道業	800万円
配偶者	選択	選択	選択		100万円

注:ブランクの場合は統計値を使用します

金融資産 (昨年末)	1800万円	②質問票の金融資産に記入します
------------	--------	-----------------

支出	家計についてお伺いいたします。次の中にご記入ください				
	基本生活費	年額(万円)	300万円	③質問票の支出欄に記入します	
	家賃	年額(万円)		既に自宅購入済	
	車関連費	年額(万円)		車の税金	
	保険料	年額(万円)	12万円	生命保険、医療保険、火災保険などの月平均額額(車の保険を含みません)	
その他	年額(万円)		上記以外の支出(一種の用途不明金で預金や債券購入などを含みません)		

注:ブランクの場合は統計値を使用します

自宅購入契約がある場合には次にご記入ください						
	物件価格(万円)	金利タイプ	借入年齢(歳)	借入金額(万円)	年	期間(年)
	3800万円	変動金利	34歳	3400万円	1.200%	30年

④自宅購入を記入します

「承諾する」に変更すると以前の情報は削除されます ⇒ 承諾する

上記ご回答をグラフに表示

ここをクリック願います

項目選択画面へ



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『質問票』に記入したのを上書きします

お金の使い方を調べてみましょう (薄ピンク色の所にご記入をお願いします)

(質問票は給与所得者 20歳～59歳で年収が150万円以上が対象)

家族	何歳ですか (昨年末の満年齢)	54歳			
	配偶者は何歳ですか (昨年末の満年齢)	54歳			
	お子様の年齢を大きい順に入れて下さい	24歳	22歳		

①今回は性別を選択していない時を示します

仕事	お仕事についてお伺いいたします。次の中から選択してください				
		性別	企業規模の選択	職種の選択	税込年収(万円)の記入(*注)
	ご本人	選択	中企業(100人～999人)	電気・ガス・熱供給・水道業	800万円
	配偶者	選択	選択	選択	100万円

注:ブランクの場合は統計値を使用します

金融資産 (昨年末)	1800万円	昨年末の預貯金、債券、株券、外貨預金など全ての合計額です
------------	--------	------------------------------

支出	家計についてお伺いいたします。次の中にご記入ください				
	基本生活費	年額(万円)	300万円	食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等(*注)	
	家賃	年額(万円)		既に自宅購入者は不要です	
	車関連費	年額(万円)		車の税金、保険代、ガソリン代、維持費の年平均額(車体価格を除く)	
	保険料	年額(万円)	12万円	生命保険、医療保険、火災保険などの月平均額(車の保険を含みません)	
	その他	年額(万円)		上記以外の支出(一種の用途不明金で預金や債券購入などを含みません)	

注:ブランクの場合は統計値を使用します

自宅購入契約がある場合には次にご記入ください						
	物件価格(万円)	金利タイプ	借入年齢(歳)	借入金額(万円)	年利(%)	期間(年)
	3800万円	変動金利	34歳	3400万円	1.200%	30年

①承諾するを選択します

「承諾する」に変更すると以前の情報は削除されます ⇒ 承諾する

上記ご回答をグラフに表示

ここをクリック願います

項目選択画面へ

②ここをクリックします

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

収入・支出・年間収支グラフの表示

家族4名 自宅購入

次に進む⇒

『メニュー』へ ←

『入力』へ ←

『ローン』へ →

『キャッシュ』へ →

『キャッシュ2』へ →

『情報』へ →

注: マクロを使用しない方は下の『タブ』をご使用下さい

収入・支出・年間収支

現状(例1)税込

作成者

様

記入日

印刷

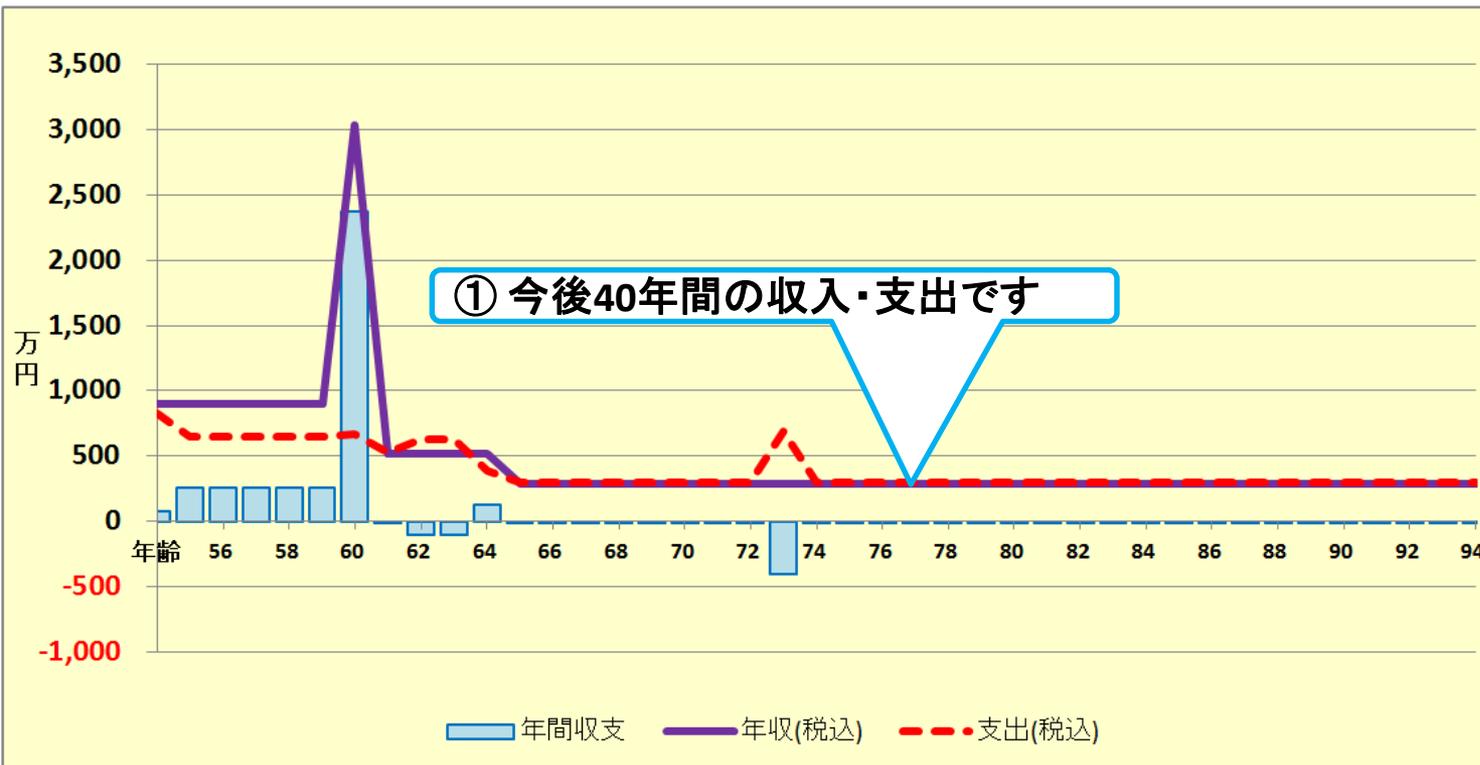
他へ

グラフの選択
現状(例1)税込

①右側の赤矢印
を押して他のグ
ラフを確認します

次へ

FPキャプテンで作成



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

収支と金融資産残高の表示

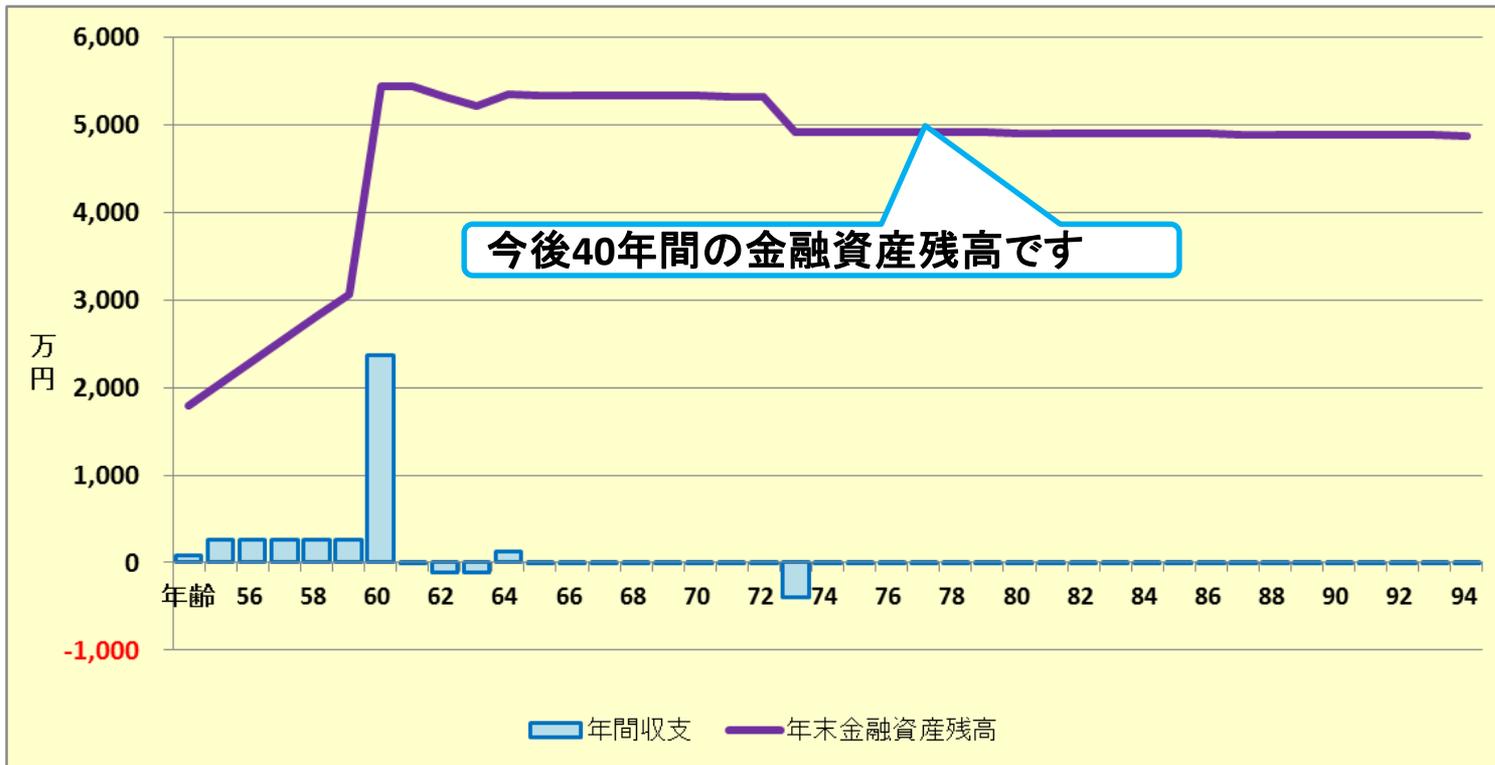
家族4名 自宅購入

② ローンの矢印を押します

① このカラムを押して、
現状：収支と金融資産を選びます



グラフの選択
現状：収支と金融資産



次へ ↓

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

ローン返済額グラフを開きます

次に進む⇒

『メニュー』へ

『入力』

『図』へ

『キャッシュ』

『キャッシュ2』

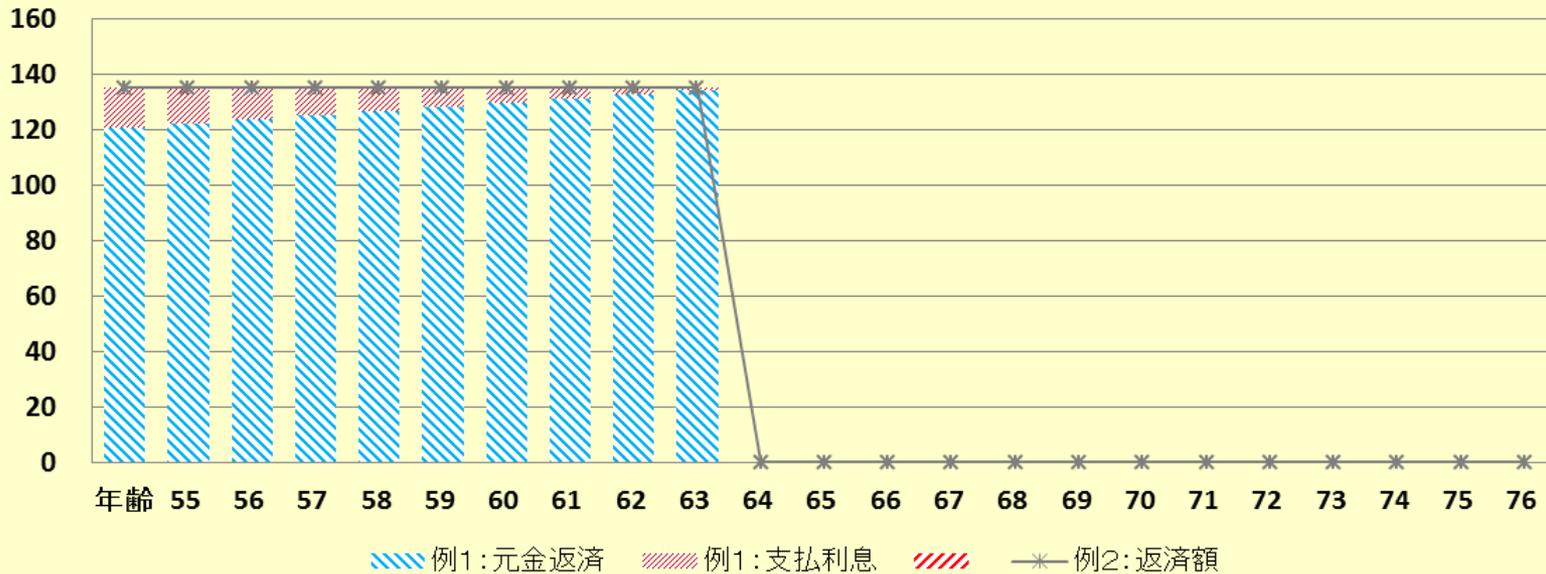
『情報』へ

印刷

キャッシュの矢印を押します

様

ローン返済額内訳 (基準年～初期22年) 単位: 万円



次へ ↓

表示: 現状(例1)=1, 変更(例2)=2 1

他: 返済額 1

西暦=1 2

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、このようになるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

キャッシュフローを開きます

入力の矢印を押します

今後の状況が数字で分かります

FPキャプテン 2017年版使用

次に進む⇒『資産』へ				『入力』へ				『図』へ				『ローン』へ				『総収支』へ				『キャッシュ2』へ				『情報』へ				印刷	
現状(例1:Input)				現状のキャッシュフロー表(単位:万円)				様				記入日				行列番号表示				作成									
経過年数	西暦	基準年⇒		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12													
				2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028													
ライフイベント	家族・夫婦予定	子供予定																											
予想値	参考: 本人	税込予測	800	800	800	800	800	800	800	516	516	516	516	516	211	211													
	参考: 配偶者	税込予測	100	100	100	100	100	100	100	0	0	0	0	0	78	80													
	参考: 退職金	税込予測	0	0	0	0	0	0	0	2,523	0	0	0	0	0	0													
収入	可処分所得 本人	2,537%	610	610	610	610	610	610	610	393	393	393	393	393	191	191													
	可処分所得 配偶者	0.000%	100	100	100	100	100	100	100	0	0	0	0	0	71	73													
	可処分所得 退職金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	2,479	0	0	0	0	0	0													
	ローン借入金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	副収入: 企業年金: 一時的: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	その他ローン控除: 個年金: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	収入合計(可処分所得)		709	709	709	709	709	709	709	709	2,872	393	393	393	393	262	264												
支出	基本生活費	0.000%	300	270	270	270	270	270	270	216	216	216	216	216	216	216													
	住居費(ローン以外)	0.000%	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	138	38	38	38													
	教育費	0.000%	149	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	保険料	0.000%	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12													
	自動車関連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	一時的支出	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	100	0	100	0	0	0	0													
	その他支出・年金積立	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	支出小計1		499	320	320	320	320	320	320	366	266	366	366	366	266	266													
	ローン返済代+諸費用		135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	0	0													
	使途不明金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
支出合計		634	455	455	455	455	455	455	455	501	401	501	501	266	266														
年間収支	1,724		76	254	254	254	254	254	254	2,371	-8	-108	-108	127	-4	-2													
年末金融資産残高	1,800	0.000%	1,800	2,054	2,308	2,562	2,816	3,070	5,441	5,433	5,324	5,216	5,343	5,339	5,337														
ローン残高(年末)			1,151	1,029	906	781	655	527	398	267	134	0	0	0	0														

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

参考：氏名・作成者などを入力します

今回は入力しません

入力シートが開きます

基準年を変更して、過去・未来のライフプランを作成することができます。

(給与所得者 20歳～64歳で年収が120万円以上が対象) 肌の色の部分の情報をご確認ください。 緑・灰色の部分はオプションです 教育は高卒以上を前提とする

詳細作成用 様 1961 基準年 2015 本人年齢 64 西暦 2025

1月1日～12月31日で計算します 計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

家族	本人	配偶者	無しは-1歳	第一子	第二子	第三子	子(父)	子(母)
基準年末・年齢(歳)	54	54	年齢(歳)	24	22	-1	-1	-1
基準年・税込年収(万円)	800	100	誕生西暦					
任意:基準年可処分所得			1					1

教育	幼歳	4	変動率			資金援助			
教育番号	幼	小	中	高	前大	後大	院	年齢	額
第一子	11	2	3	4	16	16		30	100
第二子	11	2	3	4	16	16		30	100
第三子	11	2	3	4	16	16		30	100

既に昇給が終わった方で、60歳以上の雇用延長の昇給が『0%』で勤務される場合は『0』にします。

⑤最後に「メニュー」を押して最初に戻ります

④作成者を「作成者 木村太郎」のように作成者を入れて入力します

次に進む 『メニュー』へ 『情報』へ 『図』へ 『ローン』へ 『キャッシュ』 『キャッシュ2』 印刷

注:『ライフプラン通常作成版』で使用した項目は、『ライフプラン簡単・収入・支出作成版』の変更を反映しません

(給与所得者 20歳～64歳で年収が120万円以上が対象) 肌の色の部分の情報をご確認ください。 緑・灰色の部分はオプションです 教育は高卒以上を前提とする

詳細作成用 田中様 1961 基準年 2015 本人年齢 64 西暦 2025 2016年8月13日 作成者 木村太郎

1月1日～12月31日で計算します 計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

家族	和子	愛子	無しは-1歳	理沙	健人	第三子	子(父)	子(母)
基準年末・年齢(歳)	54	54	年齢(歳)	24	22	-1	-1	-1
基準年・税込年収(万円)	800	100	誕生西暦					
任意:基準年可処分所得			1					1

教育	幼歳	4	変動率			資金援助			
教育番号	幼	小	中	高	前大	後大	院	年齢	額
理沙	11	2	3	4	16	16		30	100
健人	11	2	3	4	16	16		30	100
第三子	11	2	3	4	16	16		30	100

①「姓」に「様」付けて入力します。

②「名」を入力します。(様は不要です)

③記入日を「2016/2/13」のように半角で西暦で入力します

このチャートは説明の為の『代表例』であり、このようになるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。 事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

白紙

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

例題2: 『使途不明金』を把握します

一 昨年^①の金融資産を追加

昨年: **配偶者**の親からの**相続額**を追加する

生命保険金を併せて追加します

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『キャッシュフロー』の追加項目

使途不明金の把握

— 昨年(前々年)末の本人の金融資産: **790円**

配偶者の親から相続した金融資産

昨年: 経費/税金負担後の遺産の受取額: **1000万円**

昨年遺産相続を完了しました

⇒ **使途不明金**が自動計算されます

生命保険金 (追加します)

54歳 ~ 70歳 3,000万円

71歳 ~ 90歳 1,500万円

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

参考：年間収支、預金と使途不明金(自動計算)の関係

注：自動計算の場合は予め判明している使途不明金を『支出』の『その他』に入力します
前々年度預金残高が『0.00001』の場合は、使途不明金を手動で入力できます

使途不明金の取り扱い ⇒

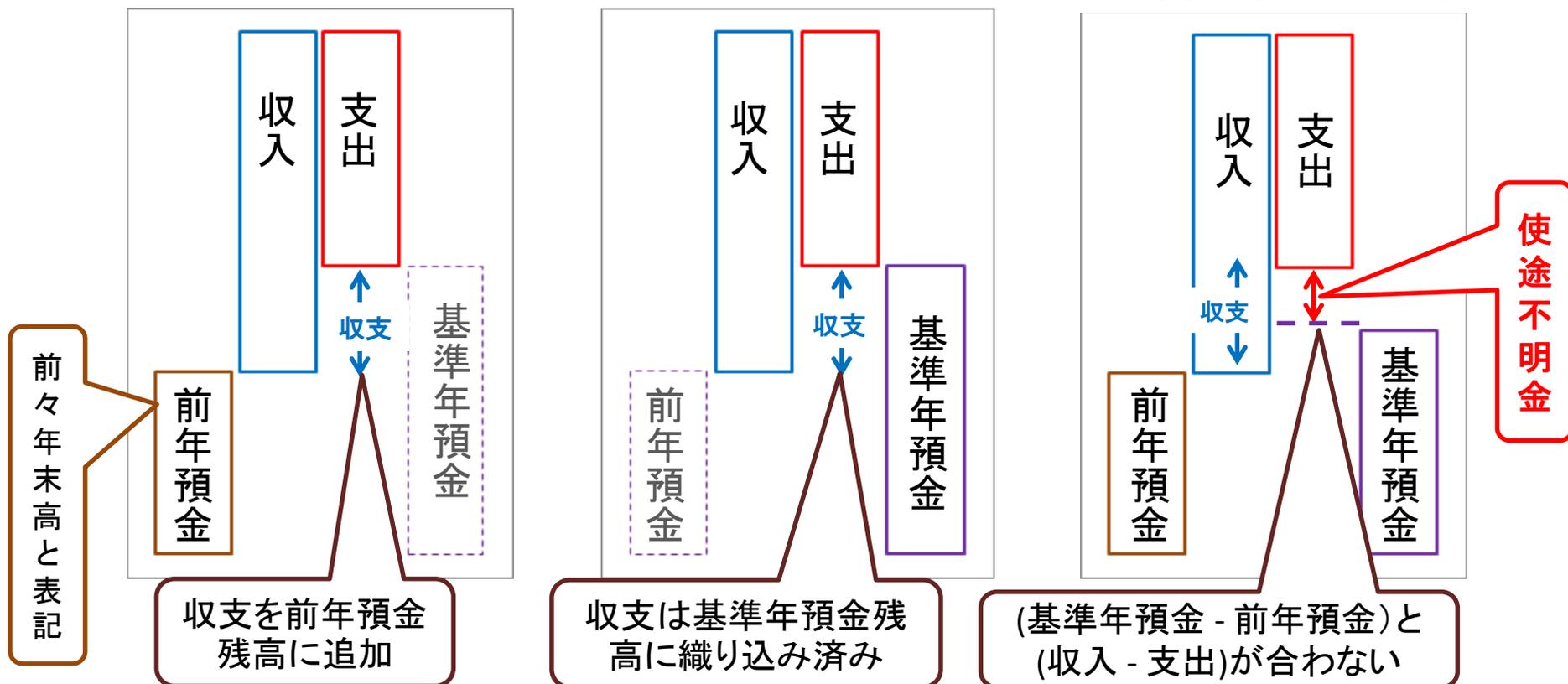
手動入力可能

自動計算

『入力画面の色々』のページ参照

前々年末預金残高が不明で、基準年預金残高が判明している場合

前々年末預金残高と、基準年預金残高の両方が判明している場合



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『入力』に前々年末残高・相続額と保険金の入力をする

最後に「図」の矢印を押す

次に進む 『メニュー』へ 『情報』へ 『図』へ 『ローン』へ 『キャッシュ』へ

注:『ライフプラン通常作成版(入力シート)』で使用了項目は、『ライフプラン簡単・収入・支出作成版』の変更を反映しません

(給与所得者 20歳～59歳で年収が150万円以上が対象)

肌色の部分の情報をご確認下さい。 緑・灰色の部分はオプション

詳細作成用	様	1962	基準年	2016	本人年齢	64	西暦	2026	
1月1日～12月31日で計算します				計算は開始年・終了年を含みます			出力の金額は該当年の年末の額です		
家族	家族	本人	配偶者	無しは-1歳	第一子	第二子	第三子	子(父)	子(母)
	基準年末・年齢(歳)	54	54	年齢(歳)	24	22	-1	-1	-1
	基準年・税込年収(万円)	800	100	誕生西暦					
	任意:基準年可処分所得			1					1

本人の年収が120万円以上の方を対象

昇給最終歳(60歳未満のこと)以降変動率は適用しない

申告開始 104

収入	収入関連	昇給率	2.537%	昇給最終歳	52	退職金変動率	0.000%	配/60歳時	0%	
		退職など	60歳時率	64%	65歳時率(注)	0%	退職金率額	3.15	取得年齢	60
		一時的	①西暦:年齢	54	額(万円)	1000	②西暦:年齢		額(万円)	
	副収入 #1	開始年	間隔:年毎	終了年	年額	副収入 #2	開始年	間隔:年毎	終了年	年額
	本人				夫婦					

相続額を入力する

注:副収入は税金の計算をしません。(就労後の認定世帯に入社している)

↑65歳率を適用する場合は右側の退職・年金開始を修正すること

現状

資産・保険	積立金	積立・前々年末残高	積立開始年	積立利息%	年間積立金	積立終了年	据置期間年	据置利息%	受取期間年	受取利率%
	保険・年金1									
	保険・年金2									
	保険・年金3									
金融資産	前々年末高	基準年末残	利率	生命保険 (被保険者=本人)	契約開始年	54	71			
	単位:万円	790	1,800	0.000%	契約終了年	70	90			
					保険金額	3,000	1,500			
	↑資産残高が『0』の場合は、再度『0』を記入				保険変動率					
	基本生活費(万円)	300	60歳後	240						

前々年末残高を入力する

保険金額を入力する

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

収支と金融資産残高の表示

家族4名 自宅購入

② キャッシュの矢印を押します

次に進む⇒

『メニュー』へ

『入力』へ

『ローン』へ

『キャッシュ』

『キャッシュ2』

『情報』へ

現状: 収支と金融資産

作成者

様

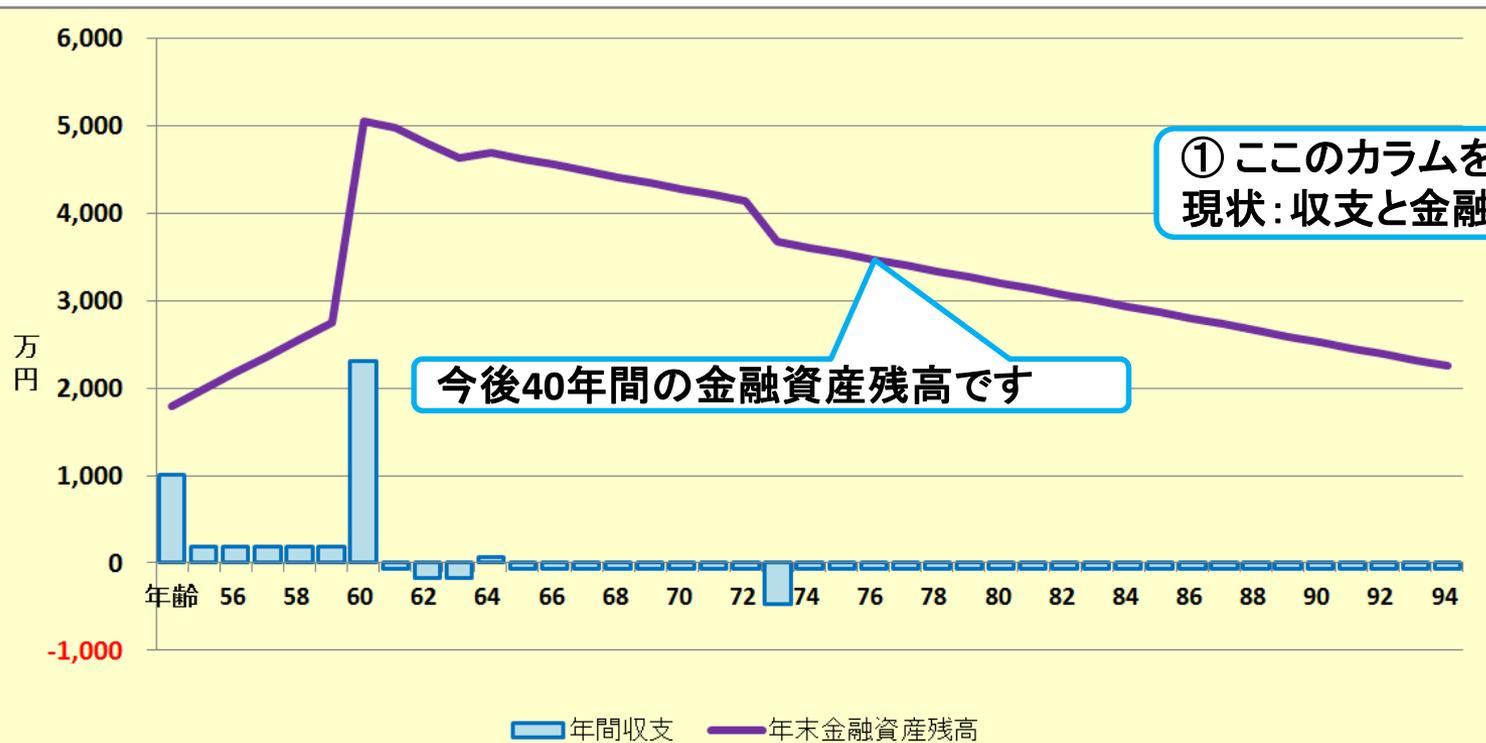
記入日

印刷

グラフの選択
現状: 収支と金融資産

① このカラムを押して、
現状: 収支と金融資産を選びます

今後40年間の金融資産残高です



次へ ↓

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

キャッシュフローを開きます

FPキャプテン 2017年版使用

②入力を押します

次に進む⇒『資産』へ		『入力』へ	『図』へ	『ローン』へ	『総収支』へ	『キャッシュ2』へ	『情報』へ	印刷									
現状(例1:Input)		現状のキャッシュフロー表(単位:万円)												様	記入日	行番号表示	作成
経過年数	基準年⇒	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
西暦		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028			
ライフイベント	家族・夫婦予定 子供予定																
予想値	参考: 本人 税込予測	800	800	800	800	800	800	516	516	516	516	516	211	211			
	参考: 配偶者 税込予測	100	100	100	100	100	100	0	0	0	0	0	78	80			
	参考: 退職金 税込予測	0	0	0	0	0	0	2,523	0	0	0	0	0	0			
収入	可処分所得 本人	2,537%	610	610	610	610	610	393	393	393	393	393	191	191			
	可処分所得 配偶者	0.000%	100	100	100	100	100	0	0	0	0	0	71	73			
	可処分所得 退職金	0.000%	0	0	0	0	0	2,479	0	0	0	0	0	0			
	ローン借入金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	副収入: 企業年金: 一時的: 注	0.000%	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	その他ローン控除: 個年金: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	収入合計(可処分所得)		1,709	709	709	709	709	709	2,872	393	393	393	393	262	264		
支出	基本生活費	0.000%	300	270	270	270	270	216	216	216	216	216	216	216			
	住居費(ローン以外)	0.000%	38	38	38	38	38	38	38	38	138	38	38	38			
	教育費	0.000%	149	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	保険料	0.000%	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12			
	自動車関連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	一時的支出	0.000%	0	0	0	0	0	0	100	0	100	0	0	0			
	その他支出・年金積立	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	支出小計1		499	320	320	320	320	320	366	266	366	366	266	266	266		
	ローン返済代+諸費用		135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	0	0	0		
	使途不明金 自動計算	0.000%	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66		
支出合計		699	521	521	521	521	521	567	467	567	567	332	332	332			
年間収支	724	1,010	188	188	188	188	188	2,305	-74	-174	-174	61	-70	-68			
年末金融資産残高	790	1,800	1,988	2,177	2,365	2,554	2,742	5,047	4,973	4,800	4,626	4,687	4,617	4,550			
ローン残高(年末)		1,151	1,029	906	781	655	527	398	267	134	0	0	0	0			

①今回は性別を選択していない時を示します

①使途不明金が表示されました(毎年66万円です)

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

例題3：『使途不明金』を減らします

自助努力により毎年4%ずつ、使途不明金を減らす努力をした場合

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

入力の使用途不明金変動率に「-4」%しと入力します

次に進む 『メニュー』へ 『情報』へ 『図』へ 『ローン』へ 『キャッシュ』 『キャッシュ2』

②図を押します。

人	副収入 #1				副収入 #2						
	本人	開始年	間隔:年毎	終了年	年額	夫婦	開始年	間隔:年毎	終了年	年額	
現 状	注:副収入は税金の計算をしません。(税額後の想定値を入れて下さい) ↑65歳率を適用する場合は右側の退職・年金開始を修正すること										
	資産・ 保 険	積立金	積立・前年残高	積立開始年	積立利息%	年間積立金	積立終了年	据置期間年	据置利息%	受取期間年	受取利率%
		保険・年金1									
		保険・年金2									
	金融資産	前々年末高	基準年末残	利率	生命保険 (被保険者 =本人)	契約開始年	54	71			
	単位:万円	790	1,800	0.000%	契約終了年	70	90				
	↑資産残高が『0』の場合は、再度『0』を記入				保険金額	3,000	1,500				
	基本生活費(万円:年)	300	60歳後	240	保険変動率						
	首都圏増加率(任意)	0	人数反映	1	現行家賃	年額:万円	0	最終年	33		
	保険料	変動率	年額(万円)	保険終了年	自動車関連 費	変動率	年額(万円)	その他支出	変動率	年額(万円)	
	0.000%	12	0		0.000%	0		0.000%	0		
支出関連	その他	①西暦:年齢		年額(万円)		②西暦:年齢		年額(万円)			
支出関連	開始年	間隔:年毎	終了年	年額(万円)	支出関連	開始年	間隔:年毎	終了年	年額(万円)		

P	公的年金		本人	配偶者	0	65	65
	公的年金受取額			年金計算	本人	配偶者	
厚生(1)/共済(2)	1	1	厚生(1)/共済(2)				
統計値選択	1	1	過去仕事開始				
今回仕事開始年	23	23	過去仕事終了				
退職・掛金終了(歳)	64	64	以前の 仕事	年齢	0	0	
年金開始年齢	65	65	給料	昇率			
参考年齢 子備欄	65	65	昇終	0	0		
早生まれ(1)	0	0	以前の仕事は59歳まで				
加給年金 c 万円	-1	0	収入年金1	基礎年金F			
振替加算 c 万円	0	-1	1	1	2	2	
その他年金 (可処分所得)	開始	65	65	必要保障額	100%		
	終了	111	111	70%	100%		
副収入夫婦	相続時妻へ移管		100%				
収入関連	副・一時	個年金・他	使用不明金				
変動率	0.000%	0.000%	-4.000%				

①使用不明金を毎年「-4%」ずつ減らす努力をします

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

収支と金融資産残高の表示

家族4名 自宅購入

② キャッシュの矢印を押します

次に進む⇒

『メニュー』へ

『入力』へ

『ローン』へ

『キャッシュ』へ

『キャッシュ2』へ

『情報』へ

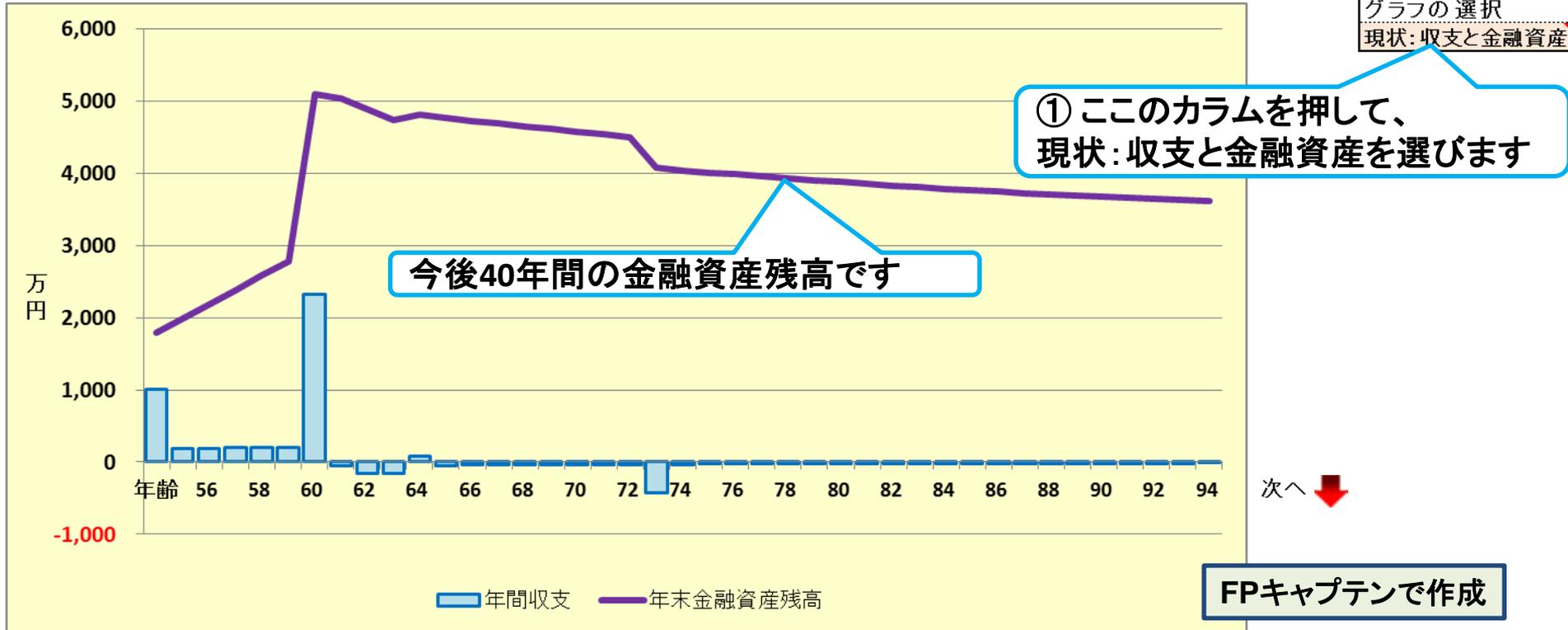
印刷

現状: 収支と金融資産

作成者

様

記入日



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

収支と金融資産残高の表示

家族4名 自宅購入

② キャッシュの矢印を押します

次に進む⇒ 『メニュー』へ 『入力』へ 『ローン』へ 『キャッシュ』へ 『キャッシュ2』へ 『情報』へ

キャッシュフローチャート 一括比較

様

記入日

印刷

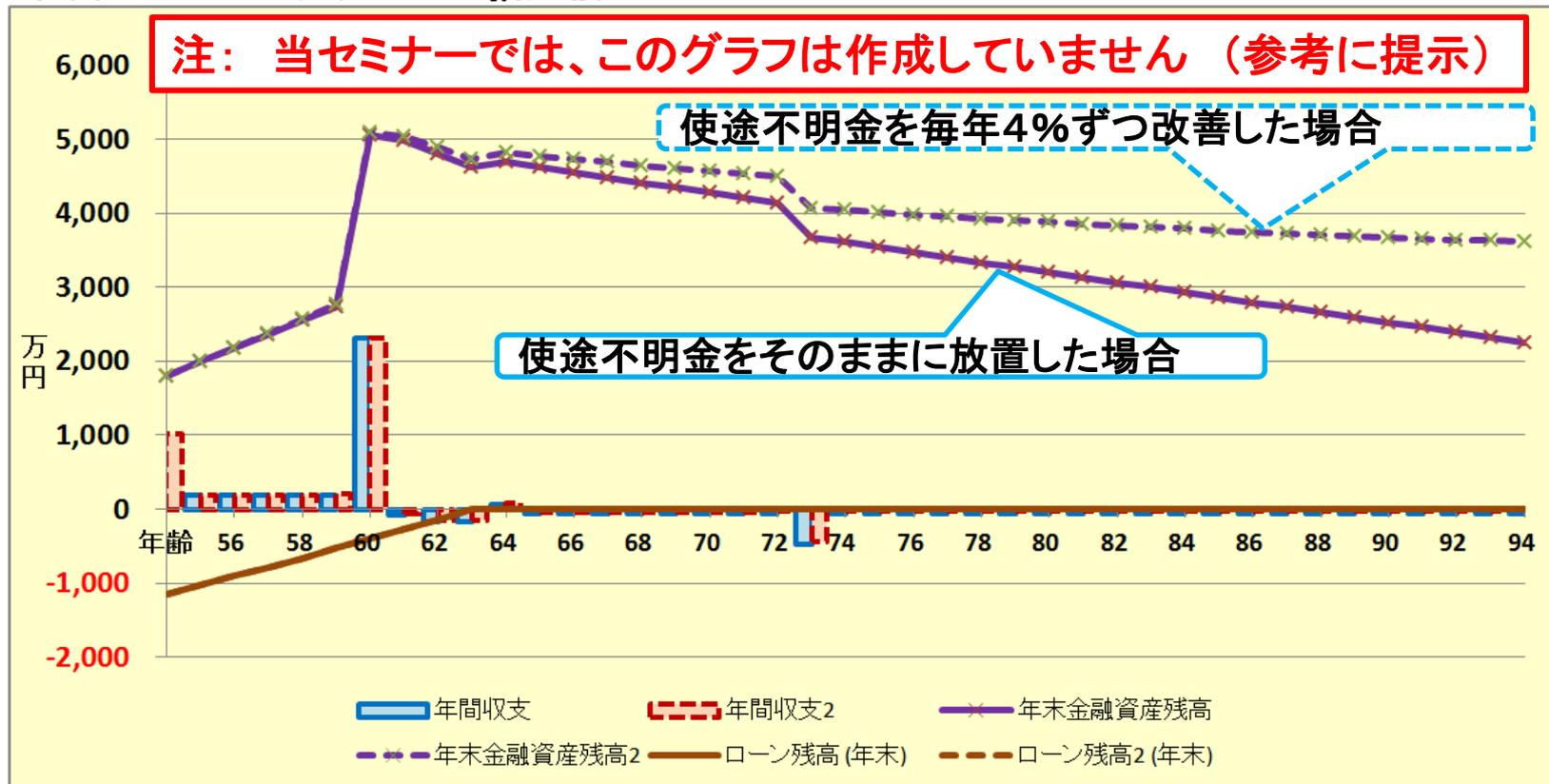
他へ

次へ

注：当セミナーでは、このグラフは作成していません（参考に提示）

使途不明金を毎年4%ずつ改善した場合

使途不明金をそのままに放置した場合



FPキャプテンで作成(改善比較チャート)

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

キャッシュフローを開きます

②入力を押します

FPキャプテン 2017年版使用

次に進む⇒『資産』へ		『入力』へ		『図』へ		『ローン』へ		『総収支』へ		『キャッシュ2』へ		『情報』へ		印刷
現状(例1:Input)		現状のキャッシュフロー表 (単位:万円)												作成
経過年数	基準年⇒	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
西暦		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
ライフイベント	家族・夫婦予定 子供予定													
予想値	参考: 本人 税込予測 参考: 配偶者 税込予測 参考: 退職金 税込予測	800 100 0	800 100 0	800 100 0	800 100 0	800 100 0	800 100 0	516 0 2,523	516 0 0	516 0 0	516 0 0	516 0 0	211 78 0	211 80 0
収入	可処分所得 本人 2.537% 可処分所得 配偶者 0.000% 可処分所得 退職金 0.000% ローン借入金 副収入: 企業年金: 一時的: 注 その他ローン控除: 個年金: 注 収入合計(可処分所得)	610 100 0 0 1,000 0 1,709	610 100 0 0 0 0 709	610 100 0 0 0 0 709	610 100 0 0 0 0 709	610 100 0 0 0 0 709	610 100 0 0 0 0 709	393 0 0 0 0 0 2,872	393 0 0 0 0 0 393	393 0 0 0 0 0 393	393 0 0 0 0 0 393	393 0 0 0 0 0 393	191 71 0 0 0 0 262	191 73 0 0 0 0 264
支出	基本生活費 0.000% 住居費(ローン以外) 0.000% 教育費 0.000% 保険料 0.000% 自動車関連費 0.000% 一時的支出 0.000% その他支出・年金積立 0.000% 支出小計1 ローン返済代+諸費用 使途不明金 自動計算 -4.000% 支出合計	300 38 149 12 0 0 0 499 135 66 699	270 38 0 12 0 0 0 320 135 63 518	270 38 0 12 0 0 0 320 135 60 516	270 38 0 12 0 0 0 320 135 58 513	270 38 0 12 0 0 0 320 135 56 511	270 38 0 12 0 0 0 320 135 53 509	216 38 0 12 0 100 0 366 135 51 552	216 38 0 12 0 0 0 266 135 49 450	216 38 0 12 0 100 0 366 135 47 548	216 138 0 12 0 0 0 366 135 45 547	216 38 0 12 0 0 0 266 0 44 310	216 38 0 12 0 0 0 266 0 42 308	216 38 0 12 0 0 0 266 0 40 306
年間収支	724	1,010	191	194	196	198	201	2,319	-57	-155	-154	83	-46	-42
年末金融資産残高	790 0.000%	1,800	1,991	2,185	2,381	2,579	2,779	5,099	5,041	4,886	4,732	4,815	4,769	4,727
ローン残高(年末)		1,151	1,029	906	781	655	527	398	267	134	0	0	0	0

①使途不明金が減少しているのが分かります

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

白紙

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

例題4：『相続税概算』を確認します

毎年4%ずつ、使途不明金を減らす努力をした場合

- 不動産を追加します
(遺産相続分も含めます。)
- 現状(例1)を使用して相続税を確認します

注：FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

親の遺産を含めた『不動産』の追加項目

自宅不動産

固定資産税課税明細書 土地・家屋 (添付)を確認下さい

変動率: 土地 3% 家屋 -6%

本人の親から相続した不動産 **昨年遺産相続**を完了しました

築20年のマンション (新築時に購入: 購入時価格 **3480万円**)

(私鉄沿線・急行が止まらない駅から徒歩13分)

固定資産税課税明細書 (添付)を確認下さい

変動率: 土地 4% 家屋 -3%

昨年、壁紙・ふすま・畳などの張替えなどを行い、キッチン・

洗面所・バス・天井などのクリーニングを実施し、**賃貸**に出せる状況

注: 両不動産の価格は次ページ以降の「**課税明細書**」を基準にします。

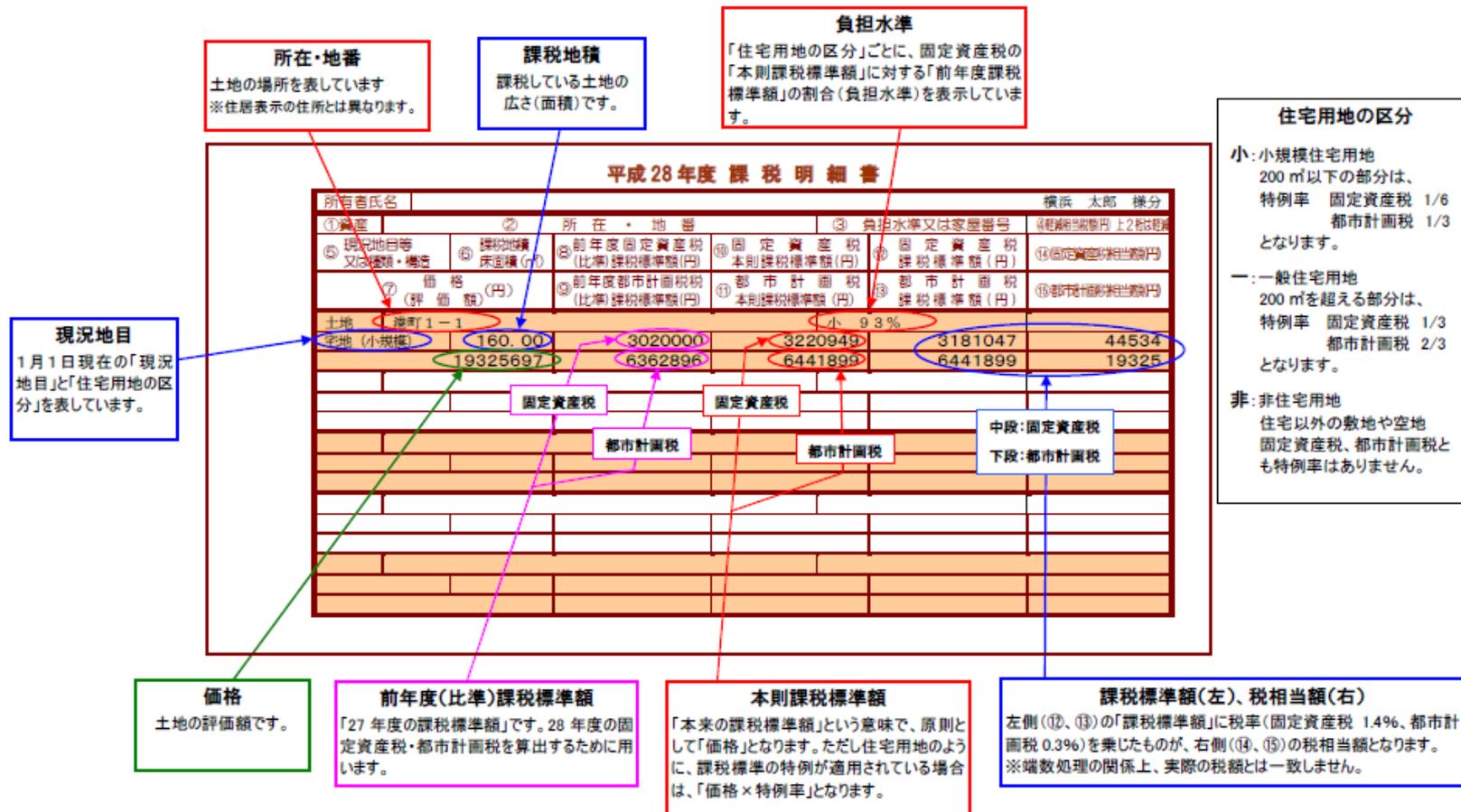
注: 相続士で無い方が特定のお客様の個別の相続情報を取り扱っていると法律にふれるおそれがあります

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『自宅』: 課税明細書を用意します

課税明細書の見方 ① 土地の場合

変動率: 土地 3%



出典: <http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/citytax/shizei/pdf/kazeimeisai/h28meisai-1.pdf>

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『自宅』: 課税明細書を用意します

課税明細書の見方 ② 家屋の場合

変動率: 家屋 -6%

所在・地番
家屋の場所を表しています
※住居表示の住所とは異なります。

課税床面積
課税対象となる家屋の
床面積です。

軽減相当税額・減額事由
一定の要件を満たした新築住宅等に係る軽減相当税額を表しています。
上2桁は、減額事由を表すコード番号です。

主な減額事由コード

- 一般の新築住宅
60、64、6A、6B
- 新築省エネ対策住宅
6C、6D
- 認定長期優良住宅
7K、7L
- 高齢者向け優良賃貸住宅
72
- サービス付き高齢者向け住宅
66、67
- 市街地再開発事業の施設建築物
69、71、6J、6K、6L

平成28年度 課税明細書

所有者氏名		所在・地番		負担水準又は家屋番号		横浜 太郎 様分	
①家屋種別	②課税床面積 (㎡)	③前年度固定資産税 (比率) 課税標準額 (円)	④固定資産税 本別課税標準額 (円)	⑤固定資産税 課税標準額 (円)	⑥軽減相当税額 (円)	⑦固定資産税相当額 (円)	⑧軽減相当税額 (円)
家屋	103.00	3112351	3112351	3112351	43572		
家屋	103.00	3112351	3112351	3112351	9337		

種類・構造
家屋の種類及び構造を表しています。
(家屋の構造)
SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造
RC:鉄筋コンクリート造
S:鉄骨造
レガ:れんが・石造
C B:コンクリートブロック造
LGS:軽量鉄骨造

価格
家屋の評価額です。

課税標準額(左)、税相当額(右)
左側(⑦、⑧)の「課税標準額」に税率(固定資産税1.4%、都市計画税0.3%)を乗じたものが、右側(⑥、⑧)の税相当額となります。
※端数処理の関係上、実際の税額とは一致しません。

出典: <http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/citytax/shizei/pdf/kazeimeisai/h28meisai-2.pdf>

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『相続したマンション』: 課税明細書を用意します

課税明細書の見方 ③ 区分所有マンションの場合

変動率: 土地 4% 家屋 -3%

所在・地番
土地の場所を表しています
※住居表示の住所とは異なります。

課税地積
マンション敷地全体の
広さ(面積)です。

価格
マンション敷地全体の
評価額です。

前年度(比準)課税標準額
「27年度の課税標準額」です。28年度の固定資産税・都市計画税を算出するために用います。
(マンション敷地全体の額が表示されています。)
中段: 固定資産税
下段: 都市計画税

本則課税標準額
「本来の課税標準額」という意味で、マンション敷地の場合には、原則として「価格×住宅用地の特例率(固定資産税 1/6、都市計画税 1/3)」となります。(マンション敷地全体の額が表示されています。)
中段: 固定資産税
下段: 都市計画税

平成28年度 課税明細書

所有者氏名		所在・地番		負担水準又は家屋番号		課税標準額	
① 資産	② 所在・地番	③ 前年度固定資産税(比準)課税標準額(円)	④ 固定資産税	⑤ 固定資産税	⑥ 固定資産税	⑦ 都市計画税	⑧ 都市計画税
⑨ 課税地積(㎡)	⑩ 価格(円)	⑪ 前年度都市計画税(比準)課税標準額(円)	⑫ 本則課税標準額(円)	⑬ 本則課税標準額(円)	⑭ 課税標準額(円)	⑮ 課税標準額(円)	⑯ 課税標準額(円)
土地	池町1-1 (区分番号 502)						
共用土地		1250.50	27430298	25173734	1097211	15366	15366
		151042404	54550021	50347468	2182000	6546	6546
家屋	池町1-1 (1-1-2)						
居室 RC		66.75			7408916	103724	103724
					7408916	22226	22226

「共用土地」は、区分所有マンションの底地です。

家屋は、各住戸の専有面積+共用部分です。

種類・構造
家屋の種類及び構造を表しています。

課税床面積
課税対象となる家屋の床面積です。

価格
家屋の評価額です。

所在・地番
家屋の場所・部屋番号を表しています。
※住居表示の住所とは異なります。

課税標準額(左)、税相当額(右)
左側(⑫、⑬)の「課税標準額」に税率(固定資産税 1.4%、都市計画税 0.3%)を乗じたものが、右側(⑭、⑮)の税相当額となります。(お持ちの持分に応じた額が表示されています。)
※端数処理の関係上、実際の税額とは一致しません。

家屋番号
登記簿上の家屋番号を表しています。未登記の家屋の場合は「未登記家屋」と表示します。

中段: 固定資産税
下段: 都市計画税

出典: <http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/citytax/shizei/pdf/kazeimeisai/h28meisai-3.pdf>

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『資産』を開きます: 相続税の状況を知りたい方

「課税明細書」に沿って不動産を入力します

② 必ず『住居形態』を選択して下さい

2015 法令を適用 次ぐに進む 『入力』へ 『相続』へ

肌色 限りの入力をお願いします。黄緑色の部分に入力されますとより正確な情報になります。

財産目録	基準年	2016	相続人数	3
当結果を相続申告に使用出来ません。また税理士でない方が特定のお客様の個別情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがあります。			1	2

② 『変動率』を記入して下さい

種類	住居形態	資産	種別	借地(家)権割合	持分×(割合)	課税地積(㎡)(注1)	価格(評価額)(円)(注2)	登記簿の全体又は本則課税標準額(注3)	登記簿の持分又は課税標準額(注4)	時価修正	公示価格に換算(本人の持分)	変動率
自宅	2	土地	0	100%	100%	160.00	¥19,325,697	¥0	¥0	100%	¥27,608,139	3.000%
		家屋	3	100%	100%	103.00	¥3,112,351			100%	¥3,112,351	-6.000%
貸家(地)	1	土地	0	21%	100%	1,250.50	¥151,042,404	¥25,173,734	¥1,097,211	100%	¥7,429,686	4.000%
		家屋	1	30%	100%	66.75	¥7,408,916			100%	¥0	-3.000%
貸家(地)		土地						¥0		100%	¥0	
		家屋						¥0		100%	¥0	
				21%	100%			¥0	¥0	100%	¥0	
				30%	100%			¥0	¥0	100%	¥0	
別荘(他)		土地		100%	100%			¥0	¥0	100%	¥0	
		家屋		100%	100%					100%	¥0	
				100%	100%			¥0	¥0	100%	¥0	
				100%	100%			¥0	¥0	100%	¥0	

③ 固定資産税「課税明細書」を使用して不動産の情報を
入力します。通常「肌色」部分のみでお願いします。

④ 青→を2回押して、生命保険の入力します。

① 『資産』シート・タブを押してください

注: FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『資産』生命保険を反映します

生命保険を入力します

① [入力シート]の現状の生命保険金を反映を選択します

死亡保険金・解約返戻金(本人契約分)

単位:円

キャッシュフロー表に反映しません

種類	名称	契約額	保険料負担者区分	被保険者・区分	保険金受取人区分	死亡保険金	解約返戻金	本人持分	相続税対象額	変動率
								100%	¥0	
								100%	¥0	
								100%	¥0	
								100%	¥0	
								100%	¥0	
								100%	¥0	
1	入力シートで現状(例1)の生命保険金を反映		9	9	8	¥30,000,000	¥10,000,000	100%	¥30,000,000	

注: 適切な『種類』を入力すると財産目録の資産に反映します 一般的は保険契約に基づきます

② [解約返戻金]を入力します

死亡退職金・弔慰金(予定:本人受取分)

キャッシュフロー表に反映しません

種類	名称	退職金・弔慰金	弔慰金非課税限度額	変動率

注: 適切な『種類』を入力すると財産目録の資産に反映します

③ [相続]を押します

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『相続』を開きます

注： 税理士で無い方が特定のお客様の個別の相続情報を取り扱くと法律にふれるおそれがあります

本人の資産の状況による相続税の概算です。

キャッシュフロー表と分離しても使用可能です

Excel 2010以上に対応

Copyright © 2014 http://webstage21.com All Right reserved

注：マクロを使用しない方は下の『タブ』

2015年度1月施行法令を適用

次ぐに進む

『入力』へ

『資産』へ

肌色部分に出来る限りの入力をお願いします。

①相続税を計算する年を入れます

相続税の状況

基準年	2016	相続税計算年	2026
-----	------	--------	------

当結果を相続税の申告に使用出来ません。また税理士でない方が特定のお客様の個別の相続情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがあります。

贈与額(相続時精算課税制度を含む)は資産から自動的に削除していません。

- ・本ソフトは、子供(養子を含めて)五人まで対応し、兄弟姉妹も五人まで対応します。また、半血兄弟姉妹にも対応します。
- ・本ソフトは、実子がいる場合の普通養子は一人まで対応、実子がない場合の普通養子は二人まで対応します。

下記の結果を相続税として申告出来ません

相続情報

配偶者以外の相続人が兄弟姉妹甥姪だけの場合は『1』⇒
(子・孫・両親・祖父・祖母がいない場合)

0

基準年・年末年齢	本人(本人)	配偶者 ↓	子(1) ↓	子(2) ↓	子(3) ↓	子(4) ↓	子(5) ↓
基準年 2016	自動	54	24	22	-1	-1	-1
	入力	54	24	22			
	相続人年齢	孫 ⇒					
		孫 ⇒					
		孫 ⇒					
		孫 ⇒					
		孫 ⇒					

年齢を修正・追記する場合は上記の表の『肌色部分』をお願いします。実存しない場合『-1』又は『-888』と表示することがあります。

一次相続人数	配偶者	子供(含代襲相続)	小規模宅地適用数	父母	兄弟姉妹(含代襲)
3	1	2	3	0	0

②青色の下向き矢印を押します

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身の用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『相続財産』が分かります

① 現状の金融資産を使用するので「1」を入れます

本人の相続財産

本人の資産

単位:円

	相続額(於計算年)	控除額*注2	小計	相続額
本来の相続財産				¥60,165,775
不動産*注1:	¥40,156,983	¥28,145,039	¥12,011,944	
動産	¥0		¥0	
資産に計上の現金・預貯金	¥0		¥0	
その他の金融資産と解約返戻金	¥0		¥0	
キャッシュロー金融資産*注2	1 ¥48,153,831		¥48,153,831	
みなし相続財産				¥15,000,000
死亡保険金(受取人固有の財産)	1 ¥30,000,000	¥15,000,000	¥15,000,000	
死亡退職金	¥0	¥0	¥0	
弔慰金(非課税額以上は死亡退職金へ移管)	¥0	¥0	¥0	
相続時精算課税適用財産額	¥0			¥0
3年以内の生前贈与加算額	¥0	¥0	¥0	¥0
			課税価格	¥75,165,775

控除額: 自宅 ¥23,745,939
控除額: 貸家 ¥4,399,100

注: 世帯合計の金融資産残高を代用として使用します。

入力シートで現状(例1)の生命保険金を加算

* 注: 贈与年を年始、相続年を年末として計算しています。
相続開始3年以内の判断が違う場合は贈与年をずらして下さい。

注1: 不動産の相続額は推定値ですので税務署にお尋ねください

注3: キャッシュロー金融資産は近似計算をした概算値です

注2: 相続時の控除額配分は、課税受取総額の比率に従って行います。

本人の負債

	負債額(於計算年)	負債額
ローン残高(キャッシュロー上と資産の合計)*注3	¥0	¥0
資産に計上のその他負債/費用	¥0	¥0
資産に計上の葬儀費用	¥0	¥0
	負債合計	¥0

注3: キャッシュロー上のローン残高は資産の欄と連動しています

単位:円

相続財産	¥118,310,814
控除額	¥48,000,000
遺産に係る基礎控除額	¥48,000,000

② 相続財産です

	総相続額	控除額	課税遺産総額	相続税の総額
相続税計算(概算) 法定相続分に応じる計算	¥90,165,775	¥63,000,000	¥27,165,000	
分割財産 (除く: 死亡保険金と生前贈与加算)	¥88,310,814			
			配偶者の税額軽減前の相続税の総額→	¥2,895,600

③ 青色の下向き矢印を押します

注: 税理士で無い方が特定のお客様の個別の相続情報を取り扱っていると法律にふれるおそれがあります

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

①今回は性別を選択していない時を示します

『相続税』を表示します

FPキャプテン 2017年版使用

注： 税理士で無い方が特定のお客様の個別の相続情報を取り扱ふと法

2015年度1月施行法令を適用

単位：円

0

相続税計算(概算)		相続する子供の人数にあわせて(1)~(5)の順に配分率を入れる				
相続人	配偶者	子(1) 孫	子(2) 孫	子(3) 孫	子(4) 孫	子(5) 孫
配分率(未入力=法定): 子供のみに適用	自動計算					
相続年 2026 相続時年齢	64	34	32			
法定相続分(%除く:死亡保険金・生前贈与加算)	50.00%	25.00%	25.00%	0.00%	0.00%	0.00%
新配分率(%除く:死亡保険金・生前贈与加算)	50.00%	25.00%	25.00%	0.00%	0.00%	0.00%
受取総額(相続額他 下記内訳参照*)	¥74,155,407	¥22,077,704	¥22,077,704	¥0	¥0	¥0
相続税額(軽減・控除前注*)	¥1,736,721	¥579,439	¥579,439	¥0	¥0	¥0
未成年者控除(人*年数)	0	0	0	0	0	0
未成年者控除額	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
完了納付額 相続時精算課税	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
納付すべき相続税	¥0	¥579,400	¥579,400	¥0	¥0	¥0
額 相続額(代襲:孫当り目安)	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
税 今回相続税(代襲:孫当り目安)	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
*内訳	相続額(財産) 受取総額	¥44,155,407	¥22,077,704	¥22,077,704	¥0	¥0
	死亡保険金 受取総額	¥30,000,000	¥0	¥0	¥0	¥0
	生前贈与(加算) 除非課税分	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
参考	(相続時精算課税) 受取総額	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

贈与額(相続時精算課税制度を含む)は資産から自動的に削除していません。

①各人の相続税です

注 当結果を相続税の申告に使用出来ません。また税理士でない方が特定のお客様の個別の相続情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがあります。これらの値はあくまでも概算です。特に土地を固定資産税評価額で代用した場合は修正が必要となります。

税額計算は税務署並びに税理士にお問い合わせください。 [寄付金、障害者控除などの未対応部分に関してはココをクリックして利用規約を確認下さい。](#)

配偶者と子供の両方がいない場合は、税務署などにお問い合わせください。 *1 配偶者税額軽減前と未成年者控除前の額

法定相続で分割した場合です。 キャッシュフローと連携した場合の相続人の数は『例1(キャッシュフロー1)』を使用します。

配偶者の税額軽減を適用する場合は、最大限適用した場合です。

配偶者の税額軽減後(1) ⇒ 1

FPキャプテンで作成

②入力を押す

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

例題5：『相続財産』の活用を考える

比較チャートを作成する

毎年**4%**ずつ、使途不明金を減らす努力をした場合

- ① 親から相続した不動産(マンション)を貸家として家賃収入を得る (来年から)
- ② 親から相続した不動産(マンション)を来年売却する

注： 親から相続した不動産 **昨年遺産相続**しました
築20年のマンション (新築時に購入:購入時価格 **3480万円**)

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『貸家』の家賃収入

賃貸条件

賃貸価格: ¥94,000

管理費: ¥5000

敷金: 2か月

保証金/礼金: ナシ

賃貸保証会社: 加入要(賃料の30%)

掛かる費用

管理費・積立金・固定資産税・保険など : 合計 年額 ¥240,630

空き室率 5%

収入合計(年額) = [(¥94,000+¥5000) x 12 - ¥240,630] x (1-0.05) = **¥900,000**

期間: 来年(56歳) ~ 80歳までの**25**年間

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

家賃収入:『入力(現状)』に家賃収入を記述する

② 図を押す

次に進む

『メニュー』へ

『情報』へ

『図』へ

『ローン』へ

『キャッシュ』へ

注:『ライフプラン通常作成版(入力シート)』で使用した項目は、『ライフプラン簡単・収入・支出作成版』の変更を反映しません

(給与所得者 20歳~59歳で年収が150万円以上が対象)

肌色の部分の情報をご確認下さい。 緑・灰色の部分はオプショナル

詳細作成用

様

1962

基準年

2016

本人年齢

64

西暦

2026

1月1日~12月31日で計算します

計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

家族	家族	本人	配偶者	無しは-1歳	第一子	第二子	第三子	子(父)	子(母)
	基準年末・年齢(歳)	54	54	年齢(歳)	24	22	-1	-1	-1
基準年・税込年収(万円)	800	100	誕生西暦						
任意:基準年可処分所得			1					1	

本人の年収が120万円以上の方を対象

昇給最終歳(60歳未満のこと)以降変動率は適用しない

申告開始

104

収入	収入関連	昇給率	2.537%	昇給最終歳	52	退職金変動率	0.000%	配属60歳時	0%
		退職など	60歳時率	64%	65歳時率(注)	0%	退職金率額	3.15	取得年齢
一時的	①西暦:年齢	54	額(万円)	1000	②西暦:年齢		額(万円)		
副収入 #1	開始年	間隔:年毎	終了年	年額	副収入 #2	開始年	間隔:年毎	終了年	年額
本人					去婦	56	1	80	90

注:副収入は税金の計算をしません。(税額後の想定値を入れて下さい)

① 貸家収入を入れます

副収入 #2は本人死亡後に収入が配偶者に移る場合に使用します

(その分必要保障額が減ります)

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『金融資産とローン』を表示します。

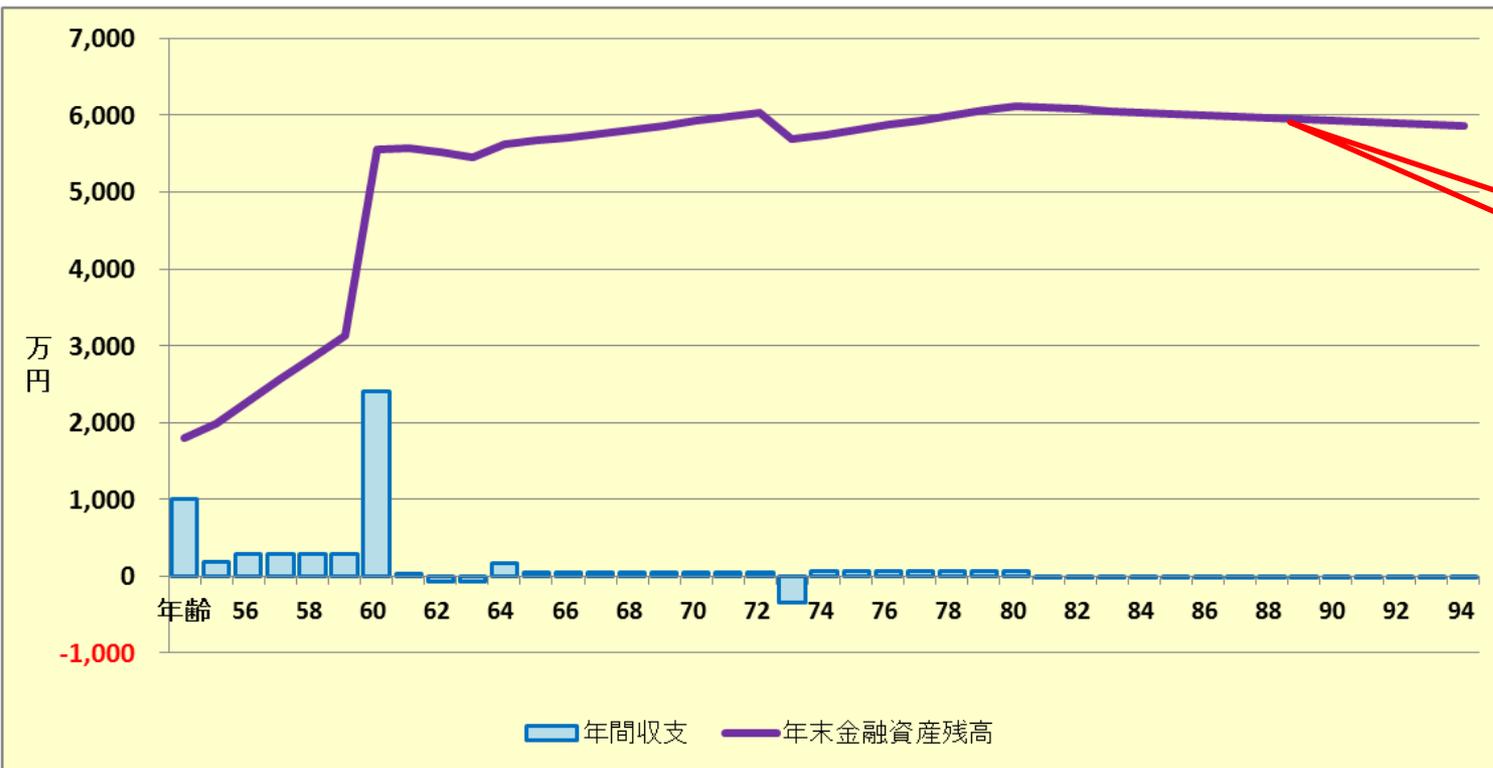
②入力を押します

次に進む⇒ 『メニュー』へ 『入力』へ 『ローン』へ 『キャッシュ』 『キャッシュ2』 『情報』へ

現状: 収支と金融資産 作成者 様 記入日 印刷

グラフの選択
現状: 収支と金融資産

①前回より金融資産が増加したことに気が付くと思います



次へ ↓

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『売却』の場合

売却条件

売却価格： 2,190万円

掛かる経費

仲介手数料・印紙税・登記費用：合計 90万円

マンション購入の契約書

20年に新築で購入した契約書存在：価格 3480万円)
マンションのローンは完了していて、抵当権抹消済み

収入金額

2,190万円 - 90万円 = **2,100万円**

譲渡所得に関し

親が住んで居た場合：収入 - 取得費 - 経費 < 0 ⇒ 譲渡所得税なし
貸家の場合：建物の取得費は未償却相当費で置き換えます

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『現状・入力』を開きます

次に進む 『メニュー』へ 『情報』へ 『図』へ 『ローン』へ 『キャッシュ』

注:『ライフプラン通常作成版(入力シート)』で使用した項目は、『ライフプラン簡単・収入・支出作成版』の変更を反映しません

(給与所得者 20歳～59歳で年収が150万円以上が対象)

肌色の部分の情報をご確認下さい。 緑・灰色の部分はオプション

詳細作成用 様 1962 基準年 2016 本人年齢 64 西暦 2026
 1月1日～12月31日で計算します 計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

家族	本人	配偶者	無しは-1歳	第一子	第二子	第三子	子(父)	子(母)
基準年末・年齢(歳)	54	54	年齢(歳)	24	22	-1	-1	-1
基準年・税込年収(万円)	800	100	誕生西暦					
任意:基準年可処分所得			1					1

本人の年収が120万円以上の方を対象 昇給最終歳(60歳未満のこと)以降変動率は適用しない 申告開始 104

収入	収入関連	昇給率	2.537%	昇給最終歳	52	退職金変動率	0.000%	配付60歳時	0%
		退職など	60歳時率 64%	65歳時率(注)	0%	退職金率額	3.15	取得年齢	60
		一時的	①西暦:年齢 54	額(万円)	1000	②西暦:年齢		額(万円)	
	副収入 #1	開始年	間隔:年毎	終了年	年額	副収入 #2	開始年	間隔:年毎	終了年
	本人				夫婦	56	1	80	90

注:副収入は税金の計算をしません。(税額後の想定値を入れて下さい) ↑65歳率を適用する場合は右側の退職・年金開始を修正すること

資産・保険	積立金	積立・前年残高	積立開始年	積立利息 %	年間積立金	積立終了年	据置期間年	据置利息 %	受取期間年	受取利率 %
	保険・年金1									
	保険・年金2									
	保険・年金3									
	金融資産	前々年末高	基準年末残	利率	生命保険 (被保険者 =本人)	契約開始年	54	71		
	単位:万円	790	1,800	0.000%		契約終了年	70	90		
						保険金額	3,000	1,500		
						保険変動率				

↑資産残高が『0』の場合は、再度『0』を記入

	基本生活費(万円:年)	300	60歳後	240	現行家賃	年額:万円	0	最終年	33		
					自動車の関係	変動率	年額(万円)	0	その他支出	変動率	年額(万円)
					費	0.000%	0	0.000%	0		

① 下向き赤(おれんじ)矢印を押す

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『変更・入力』を開きます

次に進む 『メニュー』へ 『情報』へ 『図』へ 『ローン』へ 『キャッシュ』

注: マクロを使用しない方は下の『タブ』をご使用下さい

(給与所得者 20歳~64歳で年収が120万円以上が対象)

肌色の部分の情報をご確認下さい。 緑・灰色の部分はオプション

詳細作成用 田中様 基準年 2015 本人年齢 64 西暦 2025
 1月1日~12月31日で計算します 計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

家族	家族	和夫	愛子	無しは-1歳	理沙	健人	第三子	子(父)	子(母)
	基準年末・年齢(歳)	54	54	年齢(歳)	24	22	-1	-1	-1
	基準年・税込年収(万円)	800	100	誕生西暦	0	0	0	0	0
	任意:基準年可処分所得	0	0	1					1

本人の年収が120万円以上の方を対象 昇給最終歳(60歳未満のこと)以降変動率は適用しない 申告開始 104

収入	収入関連	昇給率	今後	2.904%	昇給最終歳	52	退職金変動率	0.000%	配/60歳時	0%	
		退職など	60歳時率	66%	65歳時率(注)	0%	退職金率額	3.15	取得年齢	60	
		一時的	①西暦・年齢	0	額(万円)	0	②西暦・年齢	0	額(万円)	0	
	副収入 #1	開始年	間隔:年毎	終了年	年額	副収入 #2	開始年	間隔:年毎	終了年	年額	
		本人	0	0	0		夫婦	56	1	80	90

注: 副収入は税金の計算をしません。(税額後の想定値を入れて下さい) ↑65歳率を適用する場合は右側の退職・年金開始を修正すること

資産・保険	積立金	積立・前年残高	積立開始年	積立利息%	年間積立金	積立終了年	据置期間年	据置利息%	受取期間年	受取利率%
	保険・年金1	0	0	0.000%	0	0	0	0.000%	0	0.000%
	保険・年金2	0	0	0.000%	0	0	0	0.000%	0	0.000%
	保険・年金3	0	0	0.000%	0	0	0	0.000%	0	0.000%
	金融資産	前々年末高	基準年末残	利率	生命保険 (被保険者=本人)	契約開始年	54	71	0	0
	単位:万円	1,460	1,500	0.000%	契約終了年	70	90	0	0	
	↑資産残高が『0』の場合は、再度『0』を記入				保険金額	3,000	1,500	0	0	
基本生活費(万円:年)	260	60歳後	208	保険変動率	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%		

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『入力の変更』に記入します

③ 図を押します

次に進む 『メニュー』へ 『情報』へ 『図』へ 『ローン』へ 『キャッシュ』へ

(給与所得者 20歳～59歳で年収が150万円以上が対象)

黄色の部分は、入力(現状)または簡単・収入・支出(変更)を自動

詳細作成用		様	基準年	2016	本人年齢	64	西暦	2026	
1月1日～12月31日で計算します		計算は開始年・終了年を含みます			出力の金額は該当年の年末の額です				
↑ 家族	家族	本人	配偶者	無しは-1歳	第一子	第二子	第三子	子(父)	子(母)
	基準年末・年齢(歳)	54	54	年齢(歳)	24	22	-1	-1	-1
	基準年・税込年収(万円)	800	100	誕生西暦	0	0	0	0	0
	任意:基準年可処分所得	0	0	1					1
本人の年収が120万円以上の方を対象		昇給最終歳(60歳未満のこと)以降			104				
↑ 収入 変更	収入関連	昇給率	2.537%	昇給最終歳	52	退職金変動率	000%	配バ60歳時	0%
		退職など	60歳時率	64%	65歳時率(注)	0%	退職金率額	3.15	取得年齢
	一時的	①西暦:年齢	54	額(万円)	1000	②西暦:年齢	56	額(万円)	2100
	副収入 #1	開始年	間隔:年毎	終了年	年額	副収入 #2	開始年	間隔:年毎	終了年
本人	0	0	0	0	夫婦	56	1	80	0

① 売却価格を入れます

② 家賃を消去します
今回は収入を『0』にしています

注:副収入は税金の計算をしません。(税額後の想定値を入れて下さい)

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『現状：金融資産とローン』を表示します。

親から相続した不動産(マンション)を貸家として家賃収入を得る (来年から)

次に進む⇒

『メニュー』へ

『入力』へ

『ローン』へ

『キャッシュ』へ

『キャッシュ2』へ

『情報』へ

現状：収支と金融資産

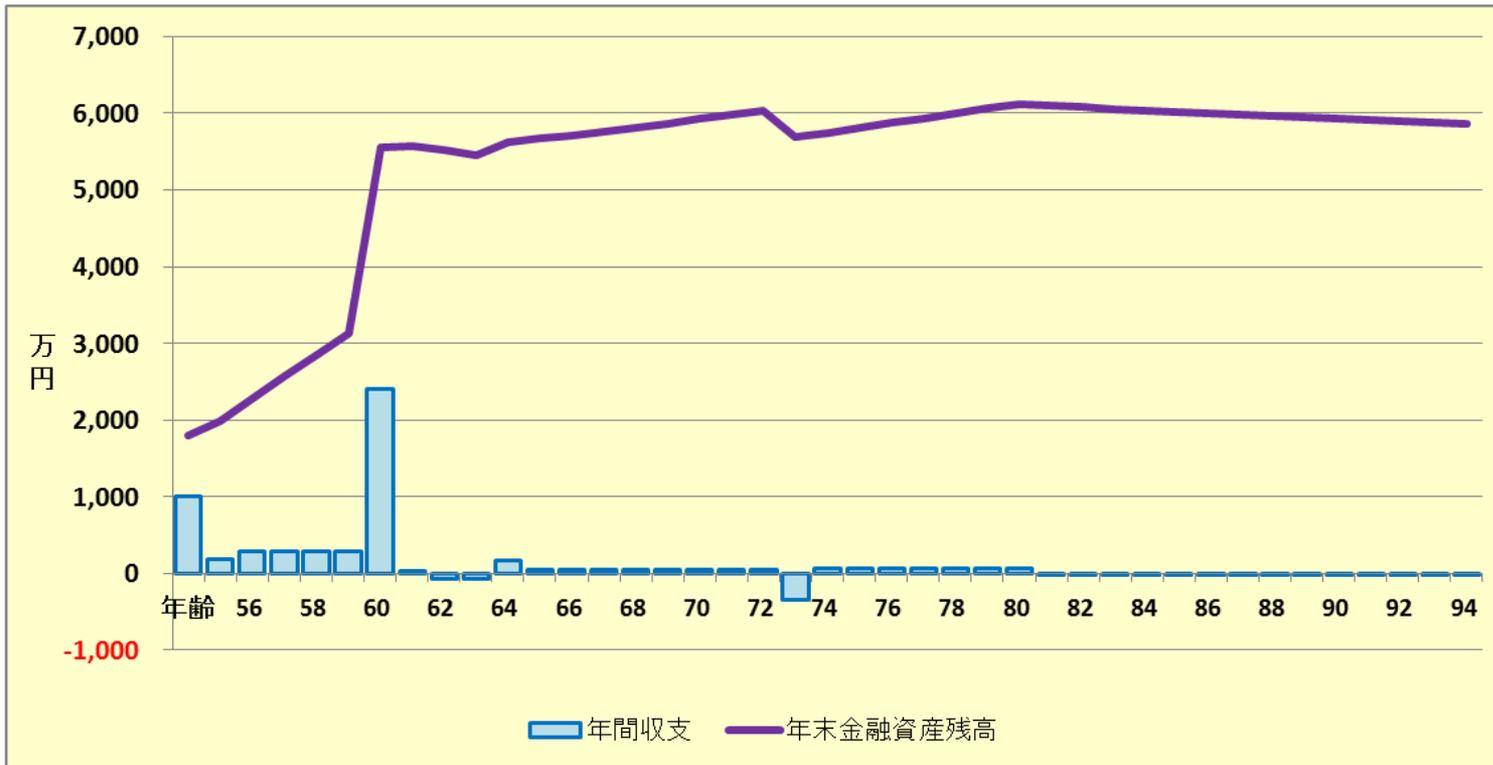
作成者

様

記入日

印刷

グラフの選択
現状：収支と金融資産



次へ ↓

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『現状：収支と金融資産』を表示します。

次に進む⇒

『メニュー』へ

『入力』へ

『ローン』へ

『キャッシュ』へ

『キャッシュ2』へ

『情報』へ

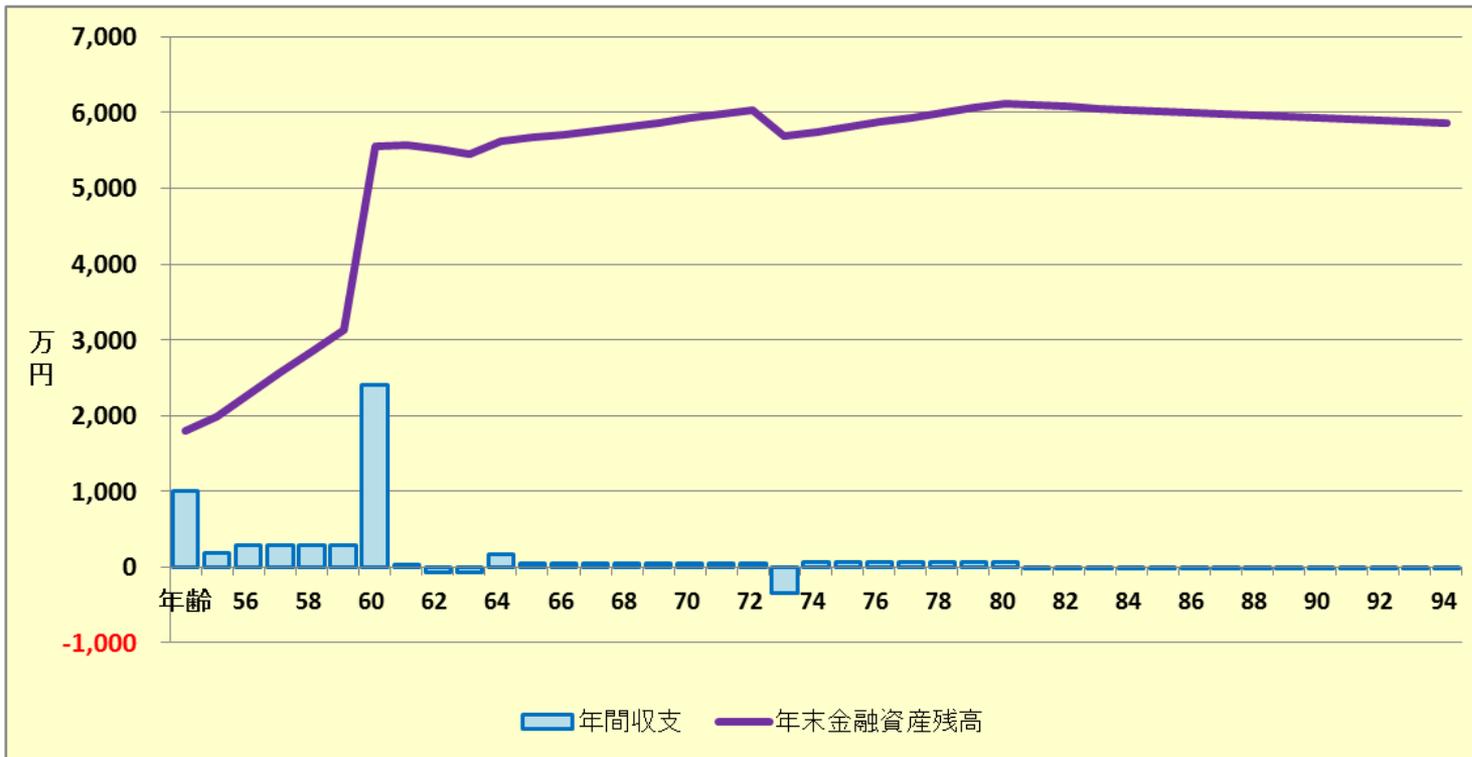
現状：収支と金融資産

作成者

様

記入日

印刷



- グラフの選択
- 現状：収支と金融資産
 - 現状：金融資産とローン
 - 変更：収支と金融資産
 - 変更：金融資産とローン
 - 現状：保険金の必要保障
 - 変更：保険金の必要保障
 - 年間収支比較
 - 金融資産比較

金融収支比較を選択します

次へ

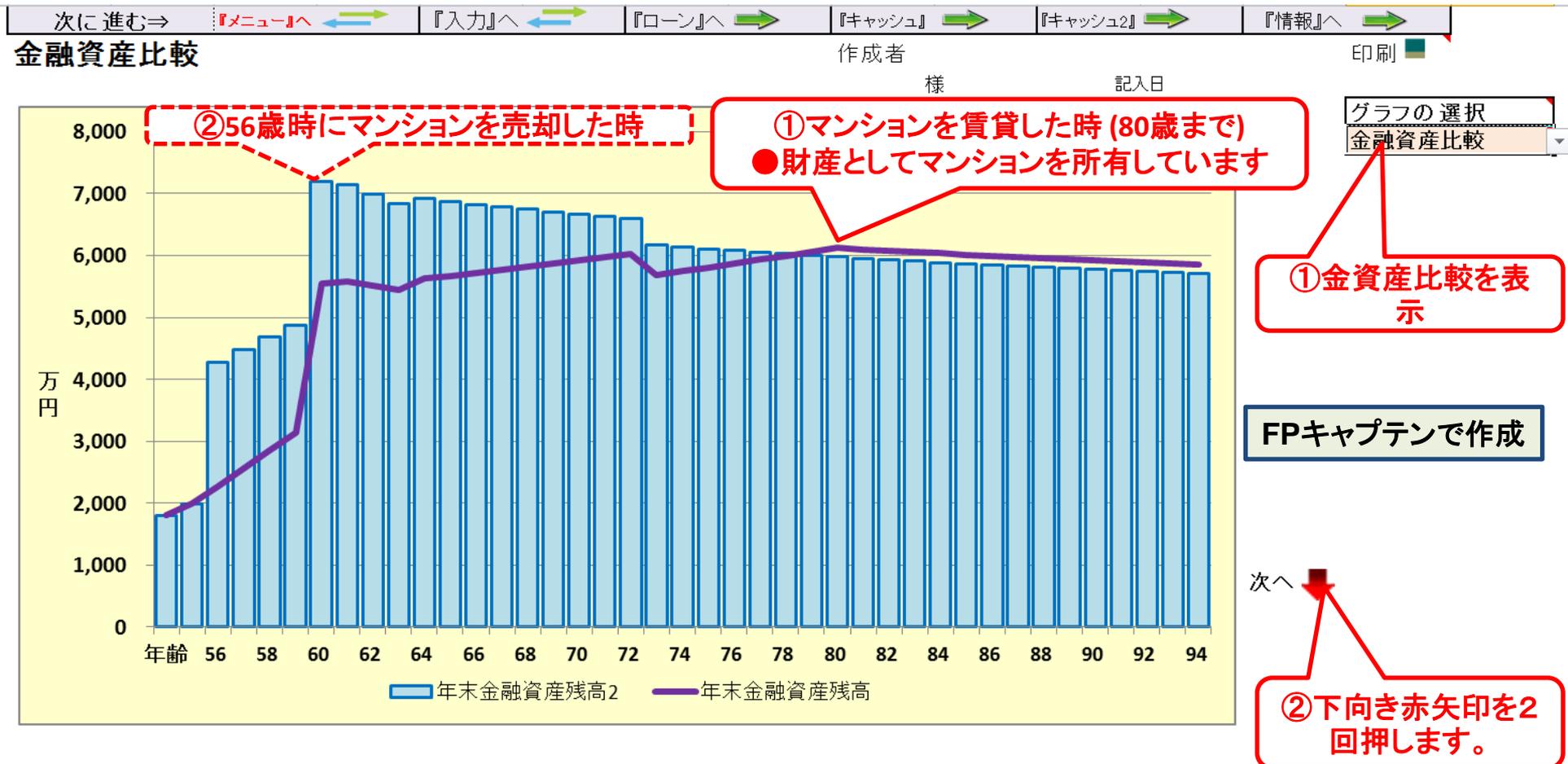
FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『金融資産比較』を表示します。

親から相続した不動産(マンション)を貸家として家賃収入を得る
親から相続した不動産(マンション)を来年売却する

(来年から)

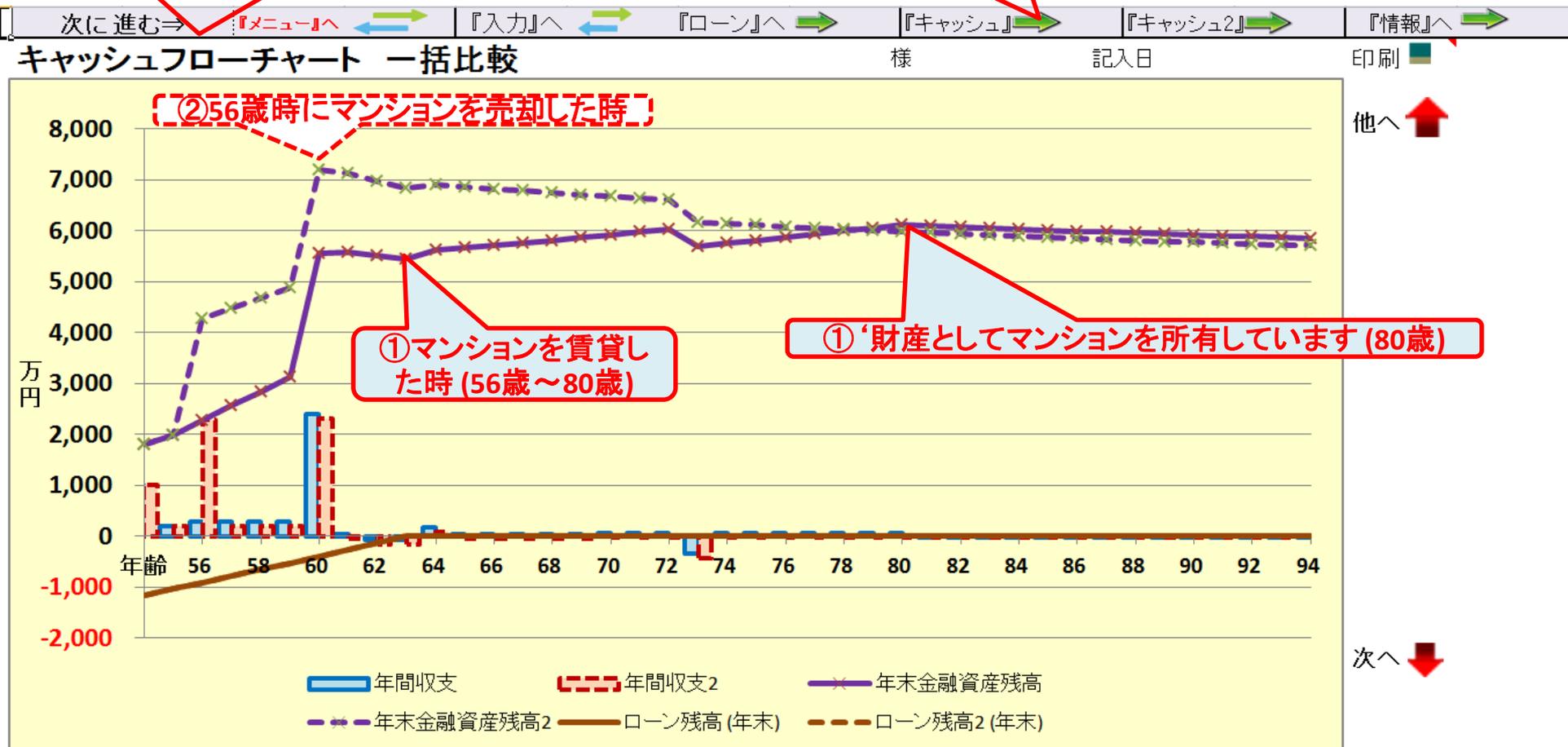


このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『キャッシュフロー一括比較』を表示します

①今回は性別を選択していない時を示します

③キャッシュを押します



次へ

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

キャッシュフローを開きます

FPキャプテン 2017年版使用

③キャッシュ2を押します

次に進む⇒『資産』へ				『入力』へ				『図』へ				『ローン』へ				『総収支』へ				『キャッシュ2』				『情報』へ				印刷																												
現状 (例1:Input)				現状のキャッシュフロー表 (単位:万円)												様				記入日				行列表号表示				作成																												
経過年数				基準年⇒																																																				
西暦				0				1				2				3				4				5				6				7				8				9				10				11				12				
2016				2017				2018				2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026				2027				2028								
ライフイベント				家族・夫婦予定																退職																																				
子供予定																																																								
予想値	参考:	本人	税込予測	800	800	800	800	800	800	516	516	516	516	516	211	211	参考:	配偶者	税込予測	100	100	100	100	100	100	0	0	0	0	0	78	80	参考:	退職金	税込予測	0	0	0	0	0	0	2,523	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	可処分所得 本人				2.537%	610	610	610	610	610	610	610	393	393	393	393	393	191	191	可処分所得 配偶者				0.000%	100	100	100	100	100	0	0	0	0	71	73	可処分所得 退職金				0.000%	0	0	0	0	0	0	2,479	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ローン借入金					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	収入合計(可処分所得)					1,709	709	799	799	799	799	2,962	483	483	483	483	352	354																			
支出	副収入: 企業年金: 一時的: 注				0.000%	1,000	0	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	基本生活費				0.000%	300	270	270	270	270	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216																	
	その他ローン控除: 個年金: 注				0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	住居費(ローン以外)				0.000%	38	38	38	38	38	38	38	38	138	38	38	38	38	38	38	38	38															
	収入合計(可処分所得)					1,709	709	799	799	799	799	799	2,962	483	483	483	483	352	354	教育費				0.000%	149	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
	自動車関連費				0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	保険料				0.000%	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12														
	一時的支出				0.000%	0	0	0	0	0	0	100	0	100	0	0	0	0	0	自動車関連費				0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
	その他支出: 年金積立				0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	一時的支出				0.000%	0	0	0	0	0	100	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
	支出小計1					499	320	320	320	320	320	366	266	366	366	366	266	266	266	その他支出: 年金積立				0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
	ローン返済代+諸費用					135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	0	0	0	支出小計1					499	320	320	320	320	366	266	366	366	266	266	266	266	266	266																
	使途不明金 自動計算				-4.000%	66	63	60	58	56	53	51	49	47	45	44	42	40	40	ローン返済代+諸費用					135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135														
	支出合計					699	518	516	513	511	509	552	450	548	547	310	308	306	306	使途不明金 自動計算				-4.000%	66	63	60	58	56	53	51	49	47	45	44	42	40	40	40	40																
年間収支				724	1,010	191	284	286	288	291	2,409	33	-65	-64	173	44	48	支出合計					699	518	516	513	511	509	552	450	548	547	310	308	306	306	306	306																		
年末金融資産残高				790	1,800	1,991	2,275	2,561	2,849	3,139	5,549	5,581	5,516	5,452	5,625	5,669	5,717	年間収支				724	1,010	191	284	286	288	291	2,409	33	-65	-64	173	44	48	48	48	48																		
ローン残高(年末)					1,151	1,029	906	781	655	527	398	267	134	0	0	0	0	年末金融資産残高				790	1,800	1,991	2,275	2,561	2,849	3,139	5,549	5,581	5,516	5,452	5,625	5,669	5,717	5,717	5,717	5,717																		
					1,151	1,029	906	781	655	527	398	267	134	0	0	0	0	ローン残高(年末)					1,151	1,029	906	781	655	527	398	267	134	0	0	0	0	0	0	0	0																	

FPキャプテンで作成

このチャートは説明のための『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『ご清聴ありがとうございました』

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

Backup 『FPキャプテン』 を保存する方法

『ファイル』をクリックします

押す

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 アドイン

A4 fx

FPキャプテン
ライフプラン作成ソフト

注:当EXCELソフトはパソコンにダウンロードしてからご使用下さい。("C"ホルダー)
USBメモリー,CD,メール受信ボックス上での動作は保障いたしません。

使用可能 Version 15.54
kfpkfp

最初はどちらかの赤い矢印を押して開始します

注意:当EXCELソフトのファイル名の2個の"@"の間は変更しないで下さい。
ファイル名に新たに「_」「-」「@」「.」「/」「\」小文字などを追加使用しないで下さい。
当EXCELソフトは登録されているパソコンのユーザー名の"ハードディスクドライブのC"のホルダーでご使用下さい。

『簡単』へジャンプ ⇒

左の緑矢印を押して家族構成・職種などの入力(簡単シート)にお進みください
注:マクロを使用しない方は下の『タブ(シート名)』をご使用下さい
初期設定値 (インターネット接続後ご使用下さい)

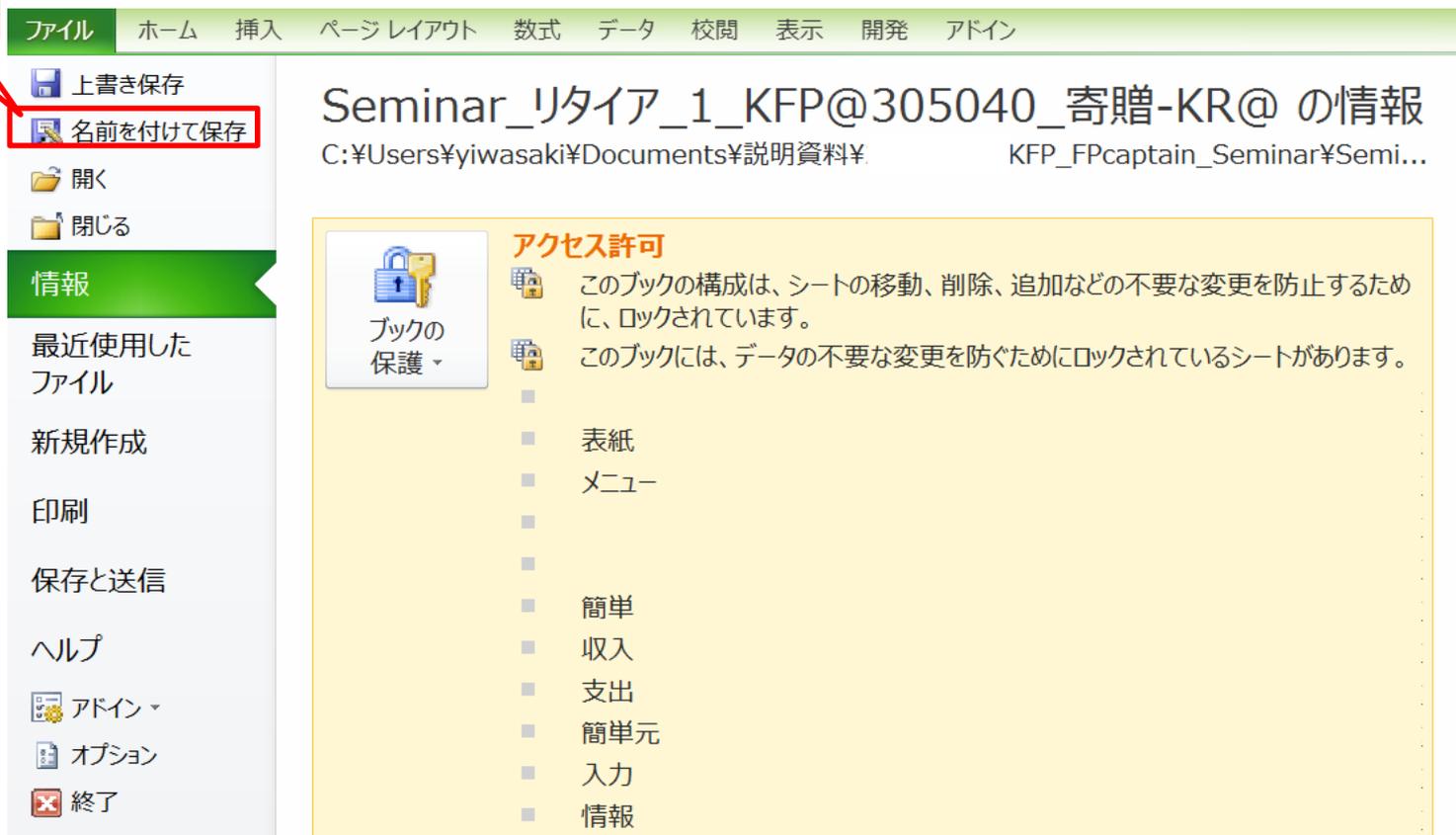
内容	下の矢印をクリック	シート名
(給与所得者 20歳~64歳で年収が120万円以上が対象)		
家族構成、職種などの入力 [必須]	➡	簡単
収入と金融資産などの入力 [必須]	➡	収入
支出関連(生活費・住宅ローンなど)の入力 [必須]	➡	支出
年金・保険・支出などの詳細情報入力 [任意]	➡	入力
年間収支・金融資産残高・ローン残高などの表示	➡	図
ローン関連の表示	➡	ローン
相続・贈与情報の入力	➡	資産
質問票を使用したの入力	➡	

使用上の制限条項、初期設定項目、自動計算項目はスクロールダウンすることにより閲覧できます。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『ファイル』 ⇒ 『名前を付けて保存』 を選択します

押す



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

先頭に適切な名前を挿入します

名前を付けて保存

20160213_KFP_FPca...

① デスクトップを選ぶ

ファイル名(N): Seminar_リタイア_1_KFP@305040_寄贈-KR@.xlsm

② 先頭に適切な名前を追加

③ 押す

保存(S)

質問票を使用しての入力

シート名
簡単
収入
支出
入力
図
ローン
資産

Windows10で名前を変えた場合は、エクセルを完全に閉じてから、再度開いて下さい

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

Backup 『保険金と必要保障額』 に関して

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

保険金と氏名の入力方法

家族4名 小中高公立 自宅購入(固定金利)

① 保険の入力

注：今までとは違うライフプランを使用します

入力シートを開き左右中央・上下中央にある以下の表に入力する

生命保険 (被保険者 =本人)	契約開始年	35	65		
	契約終了年	64	90		
	保険金額	4,000	1,500		
	保険変動率				

保険金額
30歳～64歳 4,000万円
65歳～90歳 1,500万円

② 名前の入力

入力シートを開き上段左側と中央にある以下の表(青字)に入力する

詳細作成用

山田様

1965

基準年

2015

家族

達也

奈々

無しは-1歳

佐奈

大空

第三子

子(父)

子(母)

③ 作成日と作成者の入力

入力シートを開き上段右にある以下の表(黒字)に入力する

2016年2月13日

作成者 木村太郎

図の矢印を押します。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

保険金と必要保障グラフを開きます

必要保障額概算

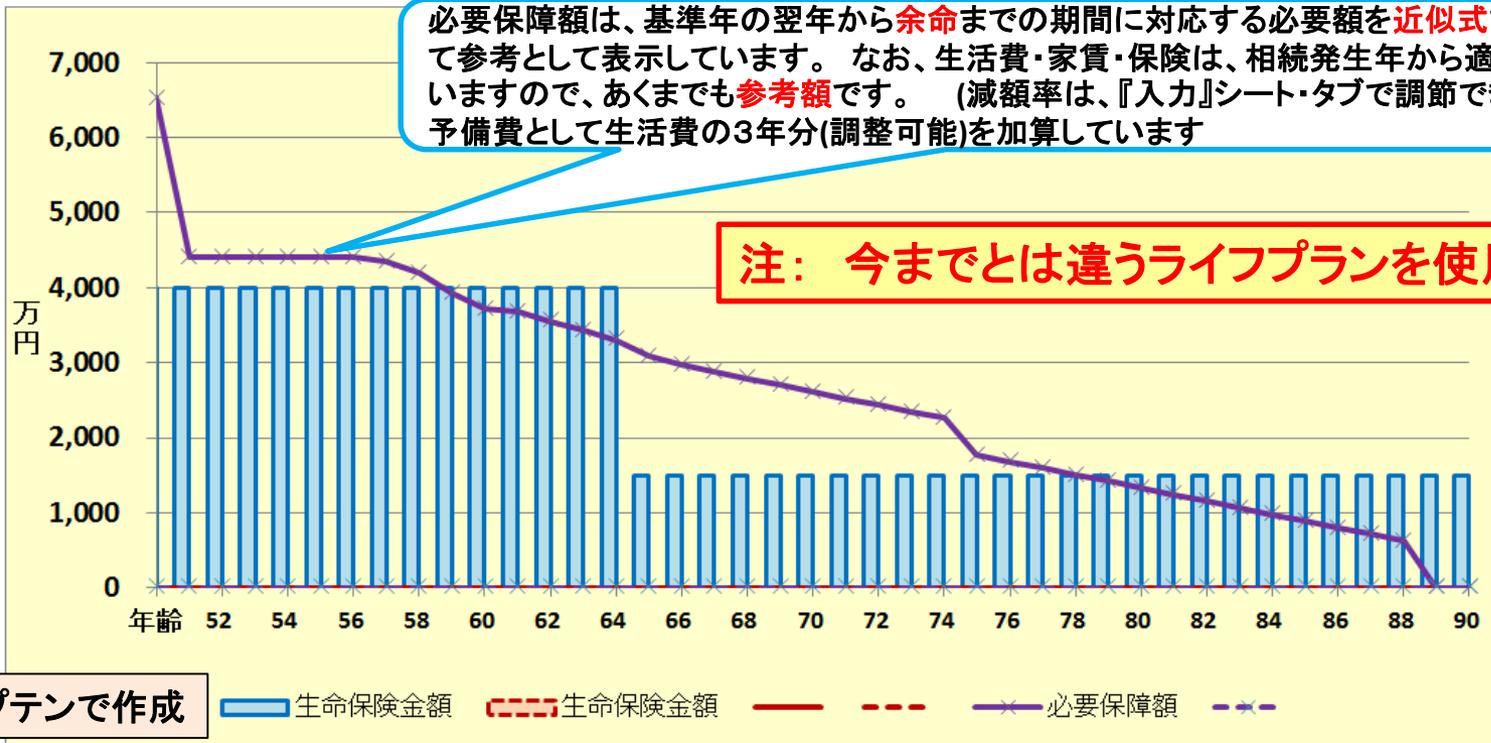
必要保障額(本人が今年死亡の場合)=[予備費 + 今後の遺族の支出合計(基本生活費等の支出累計)]
- 今後の遺族の収入合計(遺族年金等を含む収入累計) - 死亡後の前年の金融資産残高

作成者 木村太郎

山田様

2016年2月13日

印刷



必要保障額は、基準年の翌年から余命までの期間に対応する必要額を近似的に概算計算して参考として表示しています。なお、生活費・家賃・保険は、相続発生年から適切に減額していますので、あくまでも参考額です。(減額率は、『入力』シート・タブで調節できます) 予備費として生活費の3年分(調整可能)を加算しています

注: 今までとは違うライフプランを使用します

次へ ↓

FPキャプテンで作成

生命保険金額 (blue bar) 生命保険金額 (red dashed bar) 必要保障額 (purple line with 'x')

注:昇給、税額および社会保険料は概算で計算していますので多少の誤差があります。将来の推定値は近似的を採用していますので参考値として下さい。全てのローンは満額の団体信用生命保険、またはそれ相当の生命保険に満額加入とします。

必要保障額は、基準年の翌年から余命までの期間に対応する必要額を近似的に概算計算して参考として表示しています。なお、生活費・家賃・保険は、相続発生年から適切に減額していますので、あくまでも参考額です。(減額率は、『入力』シート・タブで調節できます)

表示 = 1	生命保険金	保険金余裕額	必要保障額	西暦 = 1
現状(例1)	1	0	1	2
変更(例2)	0	0	0	

Input1 (現状・例1)を表示する場合、Input2(変更・例2)にゼロを入れます。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。 事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

白紙

参考： 提案書作成

- リタイアメント後の生活に関して
- 相続対策は必要か

提案書の作成

下のシートタブで『提案書』を開きます



①作成日を入れます

作成日: 平成 28年 8月 13日

基準日: 平成 27年 12月 31日

田中様

生活設計に関するご提案書

②タイトルを入れます

③緑矢印の次へを押します

全印刷
固定部分
印刷

自由作成エリアへ

赤線の右側は説明エリアです
印刷しません
図形挿入領域
N8~S18

注: 数式バーの表示・非表示
〔ツール〕⇒〔表示〕タブ⇒〔数式バー〕で

注: タイトルに『...に関...』とある場合『...』

図形挿入領域
E25~R32

次へ

目次の確認

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

目次	1
1 始めに	2
2 山田家のプロフィール	
① 家族構成	3
② 昨年の収入と支出	3
③ 金融資産	4
④ 個人積立年金・個人積立保険	5
⑤ 生命保険	5
⑥ 年金	5
⑦ バランスシート	6
3 プラン作成にあたってのご希望	
① 山田家のライフイベント表	7
② 山田家の希望	8
③ 山田家のファイナンシャル・ゴール	8
4 今後の収入・支出の状況と問題点	
① 山田家のキャッシュフロー表(現状)	9
② キャッシュフロー表上の問題点	10
5 FPの提案内容	11
6 提案の効果	12
7 終わりに	13

印刷 

注: 番号は省略または他の印等に置き換えら
初期設定ではページは下の内容とリンク

図形挿入領域
N39～R62

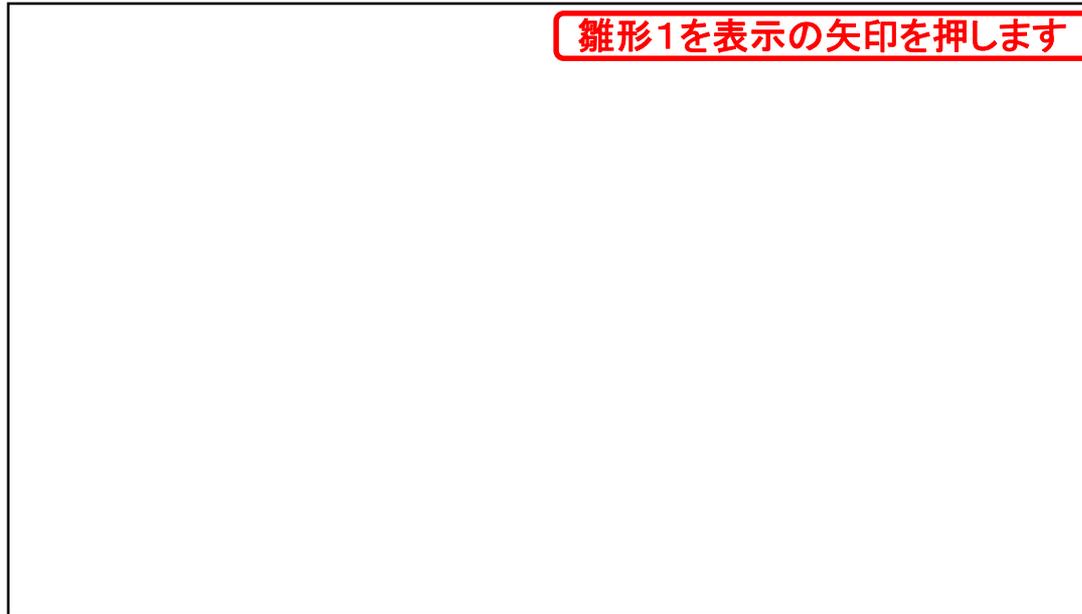
前へ 

次へ 

『始めに』を開きます

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

1 始めに



雛形1を表示の矢印を押します

印刷

雛形1を表示

始めには次の項目をご入力下さい
ご挨拶
プラン作成に当たって
前提条件
ご提案の要旨

注 「Enter」キー後のセルの移動方向の
Excelの左上の「ファイル」を
「情報」を選択
「オプション」を選択
「Enterキーを押した後にセ
「方向」でご自分に合った方

前へ

次へ

住所:

氏名:

署名:

電話:

E-mail:

2

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『雛形2』を開きます

右側の右向き緑矢印を押すか、右へスクロールします。

雛形2

シニアライフプラン

雛形2を上書きします

雛形3を表示

“雛形2を上書きします”の左の赤矢印を押します

この度は、ライフプランの作成依頼を頂きまして、誠に有難うございます。

余裕があるとは言い難い中から、多額の相談料をお支払頂き恐縮ですし、感謝の気持ちと共にFPとして身の引き締まる思いがいたします。

今回、私達は資産設計、資産管理のプロとして田中様のご希望に基づき、田中様ご自身の心配や不安を少しでも取り除き、定年退職後により豊かで安心した快適な第二の人生を送って頂く事を基本として、ファイナンシャルプランの作成をさせて頂きたいと思っております。

資産の見直し、保険設計など様々な角度から問題点を分析し、田中様にとって最適と思われるプランの作成を行ってまいります。
このプランが田中様にとって価値のあるプランであると共に、今後の実りある人生の参考の一つとして考えて頂ければ幸いです。

平成28年8月13日

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『雛形3』をコピーします

1 始めに

この度は、ライフプランの作成に際しましては、誠に有難うございます。
余裕があるとは言い難い中、ご負担頂き恐縮ですし、感謝の気持ちと共に
FPとして身の引き締まる思いを以て、お返事をさせていただきます。
今回は、私達は資産設計、資産運用のご希望に基づき、田中様ご自身の心配や不安を少しでも取り除き、定年退職後により豊かな生活を送って頂く事を基本として、ファイナンシャルプランの作成をさせて頂きたいと思っております。

資産の見直し、保険設計など様々な角度から問題点を分析し、田中様にとって最適と思われるプランの作成を行ってまいります。
このプランが田中様にとって価値のあるプランであると共に、今後の人生を豊かに考えて頂ければ幸いです。

平成28年8月13日

「Enter」キー後のセルの移動方向の変更に関するご質問は、右側の注をご参照ください。

Microsoft Excel

雛形2を提案書にコピーしました

OK

住所: ▾
氏名: ▾
署名: ▾
電話: ▾
E-mail: ▾

OKを押します

2

印刷

➡ 雛形1を表示

始めには次の項目をご入力下さい
ご挨拶
プラン作成に当たって
前提条件
ご提案の要旨

注 「Enter」キー後のセルの移動方向の変更
Excelの左上の「ファイル」を開く
「情報」を選択
「オプション」を選択
「Enter」キーを押した後にセルを移動する
「方向」でご自分に合った方向を選択

前へ

次へ

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

『雛形2』が『始めに』にコピーされました

1 始めに

この度は、ライフプランの作成依頼を頂きまして、誠に有難うございます。

余裕があるとは言い難い中から、多額の相談料をお支払頂き恐縮ですし、感謝の気持ちと共にFPとして身の引き締まる思いがいたします。

今回、私達は資産設計、資産管理のプロとして田中様のご希望に基づき、田中様ご自身の心配や不安を少しでも取り除き、定年退職後により豊かで安心した快適な第二の人生を送って頂く事を基本として、ファイナンシャルプランの作成をさせて頂きたいと思っております。

資産の見直し、保険設計など様々な角度から問題点を分析し、田中様にとって最適と思われるプランの作成を行ってまいります。
このプランが田中様にとって価値のあるプランであると共に、今後の実りある人生の参考の一つとして考えて頂ければ幸いです。

必要があれば修正
します

平成28年8月13日

FPキャプテンで作成

住所:

氏名:

署名:

電話:

E-mail:

住所などを記入し
ます

印刷

雛形1を表示

始めには次の項目をご入力下さい

- ご挨拶
- プラン作成に当たって
前提条件
- ご提案の要旨

注 「Enter」キー後のセルの移動方向の変更
Excelの左上の「ファイル」を開く
「情報」を選択
「オプション」を選択
「Enter」キーを押した後にセルを移動
「方向」でご自分に合った方向を選択

前へ

次へ

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『プロフィール』を確認します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

2 田中家のプロフィール ① 家族構成

家族情報	名前	年齢 年末	生年月日
本人	和夫様	54	1961年
配偶者	愛子様	54	1961年
第一子	理沙様	24	1991年
第二子	健人様	22	1993年
第三子			
子(父)			
子(母)			

② 昨年の収入と支出

単位:万円

収入	税込年収	退職金	副収入	年金
本人	800	2,523	0	202
配偶者	100	0	90	78

単位:万円

支出	額
基本生活費	260
住居費(除ローン)	38
教育費	153
自動車関連費	0
一時的支出・年金積立	0
ローン返済代 + 諸経費	135
その他	

3

印刷 



図形挿入領域
N1 06~R1 27

前へ 

次へ 

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『金融資産』を開きます

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

③ 金融資産

預貯金(円建て)				前年末残高	万円
Nb	金融機関	支店	口座番号	預貯金額	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
小計					0

詳細を記入します

金融資産内訳(万円)

,000

株式・債券・投資信託(円建て)						前年末残高	万円
Nb	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量	金額	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
小計							0

詳細を記入します

預金・株式・債券・投資信託(外貨建て)							前年末残高	万円
Nb	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	円換算金額
1								0
2								0
3								0
4								0
5								0
6								0
7								0
8								0
小計 (円換算 = 万円)								0

詳細を記入します

印刷

将来の金融資産計算画面に移ります

左記の金融資産合計額(前年残高)がFPキャプテン入力と3万円以上違います

左記記入の前年末金融資産
基準年残高: 万円

左記の額を入力と収入の現状

現在のFPキャプテンの基準年残高
基準年残高: 万円 差: 万円

前へ

次へ

4

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

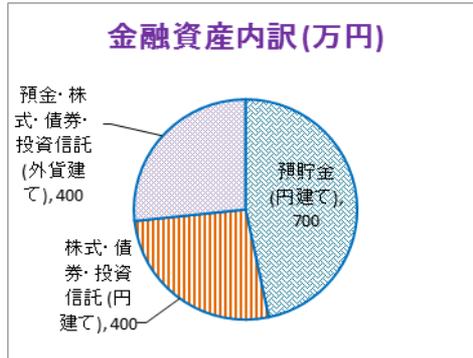
『金融資産』を入力します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

③ 金融資産

預貯金(円建て)				前年末残高	万円
No	金融機関	支店	口座番号	預貯金額	
1	AA銀行	横浜支店	2343456	400	
2	BB銀行	新横浜支店	3454567	300	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
小計				700	

詳細を記入します



株式・債券・投資信託(円建て)						前年末残高	万円
No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量	金額	
1	CC証券	関内支店	4565678	EE株式	1120	250	
2	DC証券	川崎支店	5676789	FF債権	400	150	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
小計						400	

詳細を記入します

預金・株式・債券・投資信託(外貨建て)								前年末残高	万円
No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	円換算金額	
1	GG銀行	東京支店	3214321	定期預金	米ドル	40,000	¥1000	400	
2								0	
3								0	
4								0	
5								0	
6								0	
7								0	
8								0	
小計(円換算=万円)								400	

詳細を記入します

印刷

将来の金融資産計算画面に移ります

左記記入の前年末金融資産

基準年残高: 1,500 万円

左記の額を入力と収入の現状

現在のFPキャプテンの基準年残高

基準年残高: 1,500 万円

差: 0 万円

前へ

次へ

FPキャプテンで作成

4

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

『積立年金・生命保険など』を確認します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

④ 個人積立年金・個人積立保険

名称	積立・残高	積立開始年	積立利息%	年間積立金	基準年残高	積立終了年	据置期間年	据置利息%	受取期間年	受取利率%
保険・年金1			0.000%	0	0		0	0.000%	1	0.000%
保険・年金2			0.000%	0	0		0	0.000%	1	0.000%
保険・年金3			0.000%	0	0		0	0.000%	1	0.000%

⑤ 生命保険

		生保 #1	生保 #2	生保 #3	生保 #4
生命保 険 (被保険 者 本人)	契約開始年	2015	2032		
	契約完了年	2031	2051		
	保険金額	3000	1500		
	変動率				

⑥ 年金

リタイア	退職金関連			公的年金関連		終身収入 65歳時後	企業年金関連			
	受給年	取得率*1	又は 金額	受給年	65歳時額		年金額	開始年	終了年	特退健保
本人	60	3.15	0	65	202	0	0	65	111	0
配偶者	60	3.15	0	65	78	0	0	65	111	0

*1 注: 退職金は前年年収の%表示

注: 可処分所得による入力

印刷 



前へ 

次へ 

『バランシート』を確認します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

① バランシート

単位: 万円

資産 (万円)		負債 (万円)	
預貯金 (円建て)	700	ローン	1,151
株式・債券・投資信託 (円建て)	400	その他負債	
預金・株式・債券・投資信託 (外貨建て) 外貨	400	借金	
保険 (解約返戻金)	1,000		
不動産: 自宅	3,072	合計	1,151
その他不動産	1,262		
宝石・貴金属	600	純資産 (万円)	6,282
その他動産	0		
合計	7,434	合計	7,434

基準年のローンは『現状(例1)』です

10年後のローンの選択をします。ローン残高を記述します

印刷

将来のバランシートの計算画面に移ります

資産シートデータを初期値とします

ローン キャッシュフローからコピー 単位: 万円

ローン	ローン合計	基準年	⇒	10年後
10年後	西暦	2015		2025
ローン選択	本人年齢	54		64
	ローン計: 現状(例1)	1,151		0
	ローン計: 変更(例2)	1,151		0

個人バランシート 単位: 万円

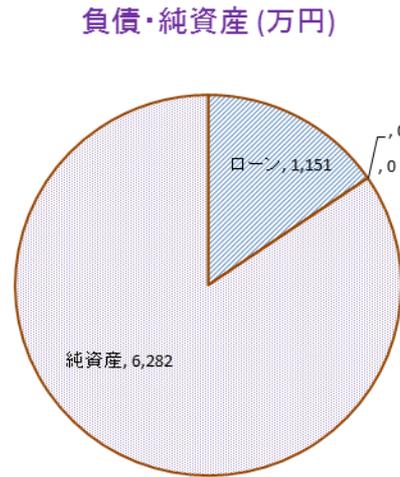
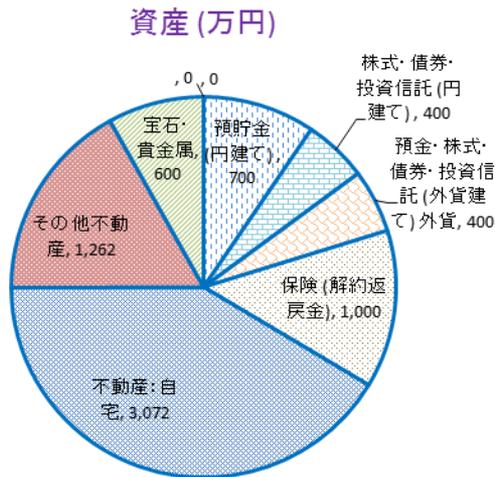
	基準年	平均変動率	10年後
・ 保険 (解約返戻金)	1,000	0.000%	1,000
・ 不動産: 自宅	3,072	2.088%	3,777
・ その他不動産	1,262	1.122%	1,411
・ 宝石・貴金属	600	2.000%	731
・ その他動産	0	0.000%	0
・	0	0.000%	0

(は『資産シートタブ』の情報を反映します)

前へ

次へ

FPキャプテンで作成



事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

『ライフイベント』を確認します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

- 3 プラン作成にあたってのご希望
 ① 田中家のライフイベント表

ご家族のライフイベント									予算
西暦	本人(年齢)	和夫様	愛子様	理沙様	健人様	第三子	子(父)	子(母)	
2015	54								
2016	55								
2017	56								
2018	57								
2019	58								
2020	59								
2021	60	退職							
2022	61								
2023	62								
2024	63								
2025	64								
2026	65								
2027	66								
2028	67								
2029	68								
2030	69								
2031	70								
2032	71								
2033	72								
2034	73								
2035	74								
2036	75								
2037	76								
2038	77								
2039	78								
2040	79								
2041	80								
2042	81								
2043	82								
2044	83								
2045	84								

追加項目がある時は入力します

印刷 



前へ 

次へ 

この区間は西暦と本人年齢を変更できます

7

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『希望』と『ファイナンシャル・ゴール』を入力します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

② 田中家の希望

- 1: 中堅企業に勤務していて、会社業績も順調で今の状況では60歳の定年まで勤務が可能です。勤務先には退職金規定があり、退職金を受け取ることが出来ます。また雇用延長制度を活用して65歳まで勤務する予定です。
- 2: 昨年、親の遺産を相続しました。この遺産を老後の費用に活用したいと思っています。
- 3: 今まで、貸家の運用をしたことが無く不安です。貸家より売却の方がよいか、専門家のご意見を伺いたい

記入します



③ 田中家のファイナンシャル・ゴール

- 1: 退職後は悠々自適な生活を送りたい
- 2: 子供にもある程度の資産を相続させたい
- 3: 趣味、娯楽を行い、優雅に生活をしたい

記入します

印刷



前へ

次へ

『FPの提案内容』を入力します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

5 FPの提案内容

山田様のキャッシュフローは健全で申し分ありません。
親からの遺産をどの様に活用するかが決めかねているところだと思います。
賃貸の経験が無いとのことですが、現在はサービスとして、お客様や対応を下さる不動産会社があります。
今、売却の方がよいか、賃貸の方がよいかは難しい問題です。今後、少子化、マンションが老朽化することなどを考え決める事が重要になります。
もう少し詳しいマンションの情報をいただき、調査したいと思っております

記入します

印刷



前へ



次へ



該当矢印を押すとそのグラフを表示します。印刷は印刷ボタン
● このシートに戻るときは下のシート・タブ『提案書』

- ➡ 【収入・支出・年間収支】・【金融資産】・【必要保障額と生活費】
- ➡ 【ローン返済額グラフ】・【ローン返済予定表】・【ローン支払内訳】
- ➡ 現状のキャッシュフロー表
- ➡ 提案(変更)のキャッシュフロー表2
- ➡ 40年間収支内訳比較
- ➡ ライフプラン診断書
- ➡ 資産・保険金・死亡退職金・贈与など
- ➡ 相続額・相続税など

次へ

**必要なものを
印刷します**

FPキャプテンで作成

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。